

商大レビュー

Shodai Review

Vol.30
2021.3

地域と
呼吸する
大学

- 07 IR 公開講演会
IR の新潮流～ ESG 投資について～
(サマリー)
- 08 受託研究
令和 2 年度 岡山県人権啓発パートナー
シップ推進事業
令和 2 年度 総社市市民提案型事業の
取り組みについて
- 10 委託事業
委託事業・日生カキオコまちづくりの会
動画制作
- 11 Field Press
フィールドスタディの取り組み
- 21 私立大学研究ブランディング事業
文部科学省
私立大学研究ブランディング事業

Index

- 巻頭言
- 04 本学に課せられた使命
岡山商科大学 学長 経営学博士 井尻 昭夫
- 05 利他の精神と適者生存の原理
弁護士法人太陽綜合法律事務所 代表弁護士 近藤 弦之介
- 06 コロナ禍での地域貢献活動
産官学連携センター センター長 大崎 紘一
- 07 IR 公開講演会
IR の新潮流～ ESG 投資について～
(サマリー)
社会総合研究所 客員教授 近藤 一仁
- 08 受託研究
令和 2 年度岡山県人権啓発パートナーシップ推進事業
法学部法学科 准教授 加藤 摩耶
- 令和 2 年度総社市市民提案型事業の取り組みについて
経営学部商学科 教授 高林 宏一
- 10 委託事業
委託事業・日生カキオコまちづくりの会動画制作
産学官連携センター
- 11 Field Press
- 16 フィールドスタディ
フィールドスタディの取り組み
- 18 フィールドスタディ
NPO 法人岡山県国際団体協議会の
「ゴミ出し動画制作事業」への協力
産学官連携センター
- 19 フィールドスタディ
総社市・令和 2 年度
インターンシップ成果報告会について
産学官連携センター

- 20 **2020年度 連携協定**
 総社市との包括協定の締結について

 中国税理士会との税理士特設講座に
 関する協定の締結について
- 21 **私立大学研究ブランディング事業**
 文部科学省
 私立大学研究ブランディング事業
 副学長 大崎 紘一
- 22 **科学研究費助成事業**
 科学研究費助成事業への取り組み
- 23 **文部科学省補助金**
 平成31年度(令和元年度)
 私立大学等改革総合支援事業
 副学長 大崎 紘一
- 24 **キャリアセンター**
 2021年3月卒学生の就職活動を振り
 返って
- 25 **高大連携**
 令和4年度からの新学習指導要領
 実施に向けたビジネス経済分野科
 目群の指導に向けて
 岡山県高等学校商業教育協会
 ビジネス経済分野研究委員会 副委員長
 梶原 由紀子
- 27 **教員免許状更新講習**
 教員免許状更新講習について

 生徒とともに成長した教育実習
 経営学部経営学科4年 橋本 樹
- 28 **慶應 MCC 夕学講座**
 『夕学(せきがく) オンライン』開催
- 30 **商大講座**
 2020年度「商大講座」
 実績・メニュー 一覧
- 32 **学術トピックス**
 著書紹介
 直前対策シリーズ
 『速攻! QC 検定2級』
 『速攻! QC 検定3級』
 経営学部経営学科 教授 西 敏明
- 33 **孔子学院**
 2020年度孔子学院活動報告
- 35 **商大塾**
 2020年度の商大塾を振り返り
 社会総合研究所 次長
 経営学部経営学科 准教授 吉良 友人
- 36 **資格試験講座**
 資格合格者一覧、合格者の声
- 38 **研究所から**
 後援会及び後援会役員会について

 所長挨拶
 社会総合研究所 所長 海宝 賢一郎
- 40 創設以降の活動経緯
- 42 編集後記

本学に課せられた使命

岡山商科大学 学長
経営学博士

井尻 昭夫



新型コロナウイルス感染症の流行は未だ驚異的であるが、治療薬やワクチンの研究開発が進められ、現在では徐々にワクチン接種ができる状況になってきた。世界中の科学者による人類の英知の結集結果であり、明るい未来が開かれる期待が生まれてきたことは嬉しいことである。

我々教育界に生きる者にとっても、この非日常的な「事件」は大きな問題となった。本学でも入学式が中止となり、新学期はゴールデンウィーク明けから遠隔授業で開始した。感染拡大状況に応じて対面授業と遠隔授業を併用したり、遠隔授業のみに切り替えたりして、今年度の授業を無事終えることができた。

この1年間で本学の情報教育環境は大きく変わった。遠隔授業を円滑に進めるため、キャンパス全域をカバーできるWi-Fi設備の整備、学生への貸出用タブレットパソコンの購入、オンライン教育システムの導入を行っている。教員に対しては、遠隔授業を効果的に行うための講習会の開催や、パソコン用のカメラ、マイク等の機器の整備、遠隔授業専用のZoomアカウントの購入等により、教育レベルの維持に努めている。

遠隔授業については、予期しない成果も報告されている。対面授業では遠慮しがちな学生が周りの学生に気兼ねなく伸び伸びと授業を受けることができたこと、レポートの提出機会の増加により自ら課題解決に向けて挑戦する姿勢が身についたこと、画面を通して教員と一対一になるため対面授業の時よりも真剣に授業に取り組むようになったこと等である。

また本学の特色の一つに、留学生が多く在籍していることが挙げられる。対面授業が本格化しても留学生はなかなか入国が叶わないという状況が続いたが、対面授業をオンラインで同時に配信することで、日本の授業をリアルタイムで受けさせることができた。

授業形態の切り替え以外に、もう一つ大きな問題が起きた。それは、コロナ禍のあおりを受けて、家計が急変したり、アルバイトができなくなったりして経済的に困窮する学生が出てきたことである。国の施策を

十分に取り入れるほか、大学独自の授業料減免制度を創設するとともに、授業料の納付期限の延長などにより、学生への支援を行っている。

世界の感染拡大防止措置を見ると、各国の国民性を映し出した策が現れていることは興味深い。ロックダウンのほか、国によってはマスクの着用が義務付けられ、罰則さえも科せられている。

対して我が国では、政府は緊急事態宣言を発出し、不要不急の外出を自粛するよう国民に呼びかけた。感染抑制を図る策としては効果的であるが、人の動きがなくなると当然のこととして経済活動も衰退化する。このために政府は「Go To トラベル」、「Go To イート」を打ち出したが、経済活動の活性化と、感染の拡大広域化防止という二律背反の問題を解決しなければならない事態を迎えた。我が国は、集团的行動には優れた組織力をもつが、国と都道府県との関係に見るように、指揮、命令の権限体系があいまいなものとなる危険性を含んでいる。

問題解決に向けた対応策はアプローチの違いはあるけれども、危機に対する迅速なリーダーの対応こそが極めて重要であると同時に、組織全体と個との調整という組織的な課題解決をうまく図ることが必要であるという点は共通している。

これは企業社会についてもいえることである。リスク管理について組織論的思考があってはじめて、実効の高い成果を期待できるといえよう。社会変化の速い今日、多様な変化に対応するためには柔軟な組織体制と、外部環境の変化に柔軟に、しかも迅速に対応する強いリーダーシップが必要とされる。このためにはリーダーの指導力の涵養とそれを受け入れる土壌を日頃から育てていくことが必要である。

私たちは、コロナ禍を経験する中で本当に多くのことを学んだ。スペイン風邪以来の、100年に1度のこの体験を明日の社会を担う学生諸君に向けた教育充実のために生かすとともに、本学に課せられた使命をこれまで以上に強く認識し、新たな大学づくりに邁進していきたい。

一、人間の本性 利己心と利他心の二面性

(1) 自己保存本能と人間の社会的動物性(社会性)

人間の本性として、自己保存本能から来る利己心と、人間の社会的動物性から来る利他心の二面性がある。利他心は、人間は独りでは生きて行けず、社会を構成して社会の中でお互いに協力して役に立ち合わなければ生きて行けない存在であるから、お互いに世のため人のために役立つなければならないという心や義務感から生まれる。これが利他の心である。

(2) 人間の本性である利己心と利他心は絶えず葛藤、相克している。しかし、社会の中で人と人が心と心を交流させ己れの足らざるところを人から学び、自己研鑽することにより、心の境地を高め合って、世のため人のために役立つという利他の心を育成することができる。そして、育成された利他の心は、利己の心を包摂し、調和させて、利他の心を利己の心に優先させ、第1に利他、第2に利己という、心の境地を醸成する。高められた心の境地を「利他の精神」ということができる。

二、職業の本質 生業(なりわい)性と奉仕性の二面性

(1) 人間の社会では、人は職業に就いて報酬として収入を得て生計を立てることができる。仕事は社会のために役立つ限り職業として成り立ち収入を得ることができる。これが職業の生業(なりわい)性である。この生業性は、その職業が世のため人のために役立つ、すなわち奉仕性をもつがゆえに成り立つ関係にある。すなわち、職業の奉仕性が原因となって結果として生業性が付与される関係にある。職業というものは生業性(利己性)と奉仕性(利他性)の二面性を有し、かつ、奉仕性(利他性)が先行して原因となって、結果として生業性(利己性)が成立する関係にあるのである。これを職業における倫理性ということができる。

(2) さらに、職業における奉仕性と生業性は、職業の奉仕性が大きければ大きいだけ生業性も増大する。すなわち、職業が世のため人のために役立つ度合いが大きければ大きいだけ社会から評価され社会的地位も信用も向上することによって、顧客も収益も増大して成功への道をたどることができる。この職業上の成功の法則は倫理法則ということができる。

(3) 天職論

人間の職業は、天(神)から人間に与えられた使命であり、人間が勤勉と節約の精神で使命を果たせば、天(神)の意思に適い、天(神)から褒美をいただくことができる。勤勉によって天(神)からいただいた褒美は尊いものであり、いただいた金銭は賤しいものではないから、商売の資

本として貯えることが推奨され、後に資本主義経済の発展の基礎となった。(プロテスタンティズムの倫理思想)

(4) 近江商人の「三方よし」の哲学

近江商人には、「売手よし、買手よし、世間よし」という「三方よし」の商人哲学が育った。これは近江商人が全国に行商する機会に、商売の信用を積む極意として「己れよし、相手よし、世間(社会)よし」の「三方よし」という商人哲学を会得して、商人道を実践することにより、商売が繁盛し、豪商に成長して近代、現代の有数の大企業に発展した成功の実例である。

(5) 企業経営と利他の精神

京セラ、KDDI(第二電電)の創業、JAL(日本航空)の再建の実績をもつ稲盛和夫氏は、経営者が心を高めて利他の心を育成し、利他の精神をもって企業の経営をすべきこと、を説いておられます。経営者は自分の利益のために企業を経営するのではなく、従業員をはじめ取引の相手方や、世のため人のために企業を営む「利他の経営」をすることが大切であると倫理的経営論を展開されておられます。

三、「利他の精神」と生存競争の競争原理における「適者生存」の「適者」

(1) 人間の本性である利己心と利他心の葛藤、相克の中で、人間は心の境地を高めて利他の心を育成して、利他の精神を体得することができること、および、人間社会の職業において世のため人のために役立つことという奉仕性を第一義とすべきこと、および、経営者は心を高めて利他の精神を育成し、利他の経営をすべきこと、を提言した。

(2) しかしながら、人間社会の現実には資本主義の自由主義経済の下で生き残りをかけた厳しい生存競争の最中にある。生存競争の中にあって競争原理の適者生存の「適者」とは何か、を考えなければならない。自然界においては変化する環境に早く適応することができるものが適者となって生存できることになるが、人間社会における生存競争で生き残る「適者」とは何か。それは前述した成功の法則における職業上の成功者ということになる。そうすると、成功者の成功の原因は、心を高めて利他の精神を実践すること、即ち利他の精神を会得した職業人が「利他の経営」を実践することであった。したがって、生存競争の競争原理における適者生存の「適者」とは、利他の精神を会得し実践する者ということになる。

心を高めて利他の精神を会得し、実践する者が、生存競争の適者生存原理の「適者」として、競争社会で生き残るのである。“「倫理」に栄光あれ”である。

コロナ禍での地域貢献活動

産学官連携センター センター長

大崎 紘一



2020年度は、コロナで始まりコロナで終わるという異常な環境の下で学生、教員とも教育研究について大いに考える必要に迫られました。

産学官連携センターでは、学生が地域と連携して行う活動は、地域からの要望が皆無となり、年間50回程度行っていたフィールドスタディが行えない状態です。学生も対面授業、オンライン授業と大学構内にいる時間が短く、連絡も取りづらい状況であることと、学生の安心安全を考慮すると学外活動に参加させて良いのかという判断が必要となり、どうしても安全側で決定をします。学外活動の機会は極端に減少しました。

また、本学の社会人教育の目玉である慶應丸の内シティキャンパスからの遠隔講義「夕学講座」もコロナ禍の影響を受け、社会人の方々に本学に来ていただき、三密を避けて受講していただく体制は準備できますが、実施するとなると安全側での決定で開講ができなくなりました。最近のオンライン会議システム技術の向上により、各自がPC又はスマホでオンライン講演を受講できるようになり、2020年度後期からは「夕学オンライン」として個人を対象とした講座になりました。約17年間岡山商科大学と言えば経済界の方々から「夕学講座」と言われるまでに地域に特徴づけられてきましたが、今後の展開を見ながら対応をしていきます。

当然、これまで実施してきた講演会も、ほとんど開催ができなくなりましたが、近藤一仁客員教授をお願いをして、Zoomでの講演会を開催しました。講師の近藤先生は横浜の御自宅、本学の受講者、学外の企業の受講者合わせてそれぞれ異なる場所で約30名のご参加をいただき

実施できました。近藤先生のご紹介で、オルバヘルスケア・ホールディングス(株)の前島洋平代表取締役社長に東証一部上場と100周年で社名変更をされたことを含めて、ご講演を頂きました。事務局としては、会場に関する仕事が無くなり、ネットワークの画像・音声の皆様が届けられればこの方法も十分に有効であると感じました。しかし、一堂に会しての対面での情報交換である講師との質疑応答、ご挨拶、名刺交換、短いお話等が現在のシステムではまだ十分ではないことを実感しました。参加者は、画面を通して見えていますので、講演会開催の前に、何人かとのご挨拶、短いお話がオンラインシステムでも可能になれば、今後面白い展開が可能のように感じています。今後、このような機能を有する同時双方向オンラインシステムが開発されれば、場所フリーな講演会、講義などを行うことができるようになることを期待しています。

商大塾での資格取得については、昨年度と遜色のない合格者を出すことができました。学生の勉強意欲は、逆に高くなり、就職活動、面接試験もオンラインで実施となると、本人のアピールポイントを増やすためにも、資格取得のために勉強をしてくれていると感じています。

突然に大きな行動変革を要求される事態に遭遇することは人生のうちで数回ではないかと思いますが、実際に遭遇すると新たな対応事項が多く、かつ迅速にPDCAを回しながらの活動を余儀なくされました。少しでも良い状態で教育、研究、社会貢献活動ができる支援活動を行うのが産学官連携センターの役割ですので、学内外からの新しいニーズに対応した取り組みを進めていきます。

IR の新潮流～ ESG 投資について～ (サマリー)

社会総合研究所 客員教授 近藤 一仁

去る 2021 年 1 月 26 日 (火) に岡山商科大学産官学連携センター・社会総合研究所主催の「IR 公開講演会」(Zoom によるオンライン・ライブ)が開催されました。

この IR 講演会は、2014 年から秋の大学祭で開催していた「学生と投資家のための会社説明会」と題するイベントを継承するもので、通算 7 回目となりました。2017～19 年には毎年 11 月下旬に開催していましたが、昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、リアルな会が開催できず、今回のオンライン講演会となりました。まず、社会総合研究所の近藤 一仁 (客員教授) が、「IR の新潮流～ ESG 投資について～」の講演を行った後、地元岡山の老舗企業であるオルバヘルスケアホールディングス (旧カワニシホールディングス) の前島 洋平社長から「社名変更と企業理念共有」というテーマでご講演いただきました。岡山商科大学の各学部学生からの参加に加え、岡山県内のビジネスパースンや大学に近い上場企業の経営トップ (E・J ホールディングス 小谷 裕司社長) にもご参加いただきました。

「IR の新潮流～ ESG 投資について～」では、IR (インベスター・リレーションズ: 上場企業とステークホルダーとの信頼関係の構築) の基本的な解説に加え、我が国の IR の発展史と新潮流である「統合報告書のブーム」とその背景として、日本版スチュワードシップ・コード (機関投資家が受託者責任を全うするための指針) の公表と日本版コーポレートガバナンス・コード (上場企業が企業統治を強化するための指針) の適用が大きく影響したことを挙げ、機関投資家と上場企業の建設的な対話 (エンゲージメント: 持続的成長と企業価値向上を促す対話) のための IR ツールが「統合報告書」であることを強調しました。統合報告書では、財務情報と非財務情報 (E: 環境、S: 社会、G: 企業統治) のバランス良い簡潔な報告が重要であり、アニュアルレポートと CSR 報告書 (企業の社会的責任) の単なる合冊ではないことも注意喚起しました。

更に、最近の IR 活動が欧米からの影響が強い中、古くから日本的な ESG を遵守しつつ、しっかりと経営してきた我が国の老舗企業 (100 年超以上) の社是・社訓 (クラブウ等) にも注目すべきものがあると指摘し、学生や県民・市民にも馴染みのある岡山県内の上場企業 25 社 (岡山にルーツのある 3 企業含む) の HP や「統合報告書発行の状況」を説明しました。最後に、学生諸君に向け、コロナ禍で企業・IR 情報 (ESG) を活用する『IR 就活の勧め』に触れ、就職して 3 年で会社を辞めるような事がないように、公式 HP の閲覧と分析を通じた『IR 就活』を是非心掛けて欲しいと述べて、講演を締めくくりました。

続く講演は、2021 年 1 月に社名を「オルバヘルスケアホールディングス」(旧カワニシホールディングス) へと変更した前島 洋平社長から、創業 100 周年を節目に社名変更に取り組み、新社名を「OLBA」(地域のヘルスケアにおいて、人と技術がつながり、一つの円になる未来を目指し、企業グループの軌道を示す) とした想いや経営理念についてご説明がありました。OLBA の由来は、O (One: 連携) L (Learn: 成長) B (Benefit: 信頼) A (Action: 探求) を意味し、社員憲章の理念を包摂したものとのことでした。

1921 年創業のオルバヘルスケアホールディングスは、次の 100 年、200 年へ向けた SDGs (社員憲章に繋がる持続可能な開発目標) として、① ミッション (すべての人に健康と福祉を) ② 先端医療機器開発 / 導入 (産業と技術革新の基盤をつくろう) ③ 医工連携・産学官医連携 (パートナーシップで目標を達成しよう) に加え、④ 男女共同参画、⑤ 時間外労働削減、⑥ CO₂ 削減の 3 つを挙げて、ダイバーシティ重視で、健康経営を追求し、地域社会への価値提供をゴールとすると強調されました。また、最近の業績や中期経営計画にも触れつつ、たゆまない生産性向上を通じた売上げの安定成長とエリア内シェア拡大が中期経営計画の注力ポイントのゴールだと語られ、ESG 重視の経営を強く印象付けて、講演を締めくくられました。

令和2年度岡山県人権啓発パートナーシップ推進事業

2020.12.2

法学部法学科 准教授 加藤 摩耶

岡山県から同推進事業を採択され、2020年12月2日(水)に加藤裕司氏をお迎えし、「あすに希望を託して～逆境から学んだこと～」と題した公開講演会を対面(781教室)とZoomにて行った。

講演会の様子は、犯罪被害者支援サークル「つぼみ」所属の法学部3年生小川さんからのレポートを通して報告していきたい。

今回の講演会では、加藤裕司さんをお招きしました。平成23年9月に突然ご長女を会社の元同僚の手によって、その命を奪われた事件についての詳細や、当時の心情など多くの貴重なお話をして頂きました。(聴講者に耳の間こえにくい人がいることから、聴講者と十分な距離をとり換気の上、マスクなしでお話いただいています)

大事なご長女を理不尽に奪われた親としての苦しみや悲しみは、聴講しているこちらにも胸が詰まって苦しくなるほどに感じられました。しかし、天国のご長女に「お父さん頑張っているね」と思って貰いたい、同じ苦しみを他の人に味わって欲しくないとお気持ちで、とてもお辛いだろうに、私達にとっても冷静に、克明に、お話を下さって、なお「一番大事にしたいのは感謝です」とおっしゃる姿勢に感動しました。

また、ご講演の中で印象に残ったお話で、『犯罪を防ぐのではなく、犯罪を生まない社会をつくるのが大事』というお話がありました。加藤さんは、犯罪を生まない

ためには人間形成過程における『環境』への配慮と、一人ひとりの少しの優しさや少しの勇気をもって1歩を踏み出すこと、後になって『あの時なんでやらなかったんだろう、手をさしのべなかったんだろう』と後悔しないように、今できることを精一杯することで社会は良くなっていくとお話くださいました。見て見ぬふりでなく、「救う側に立ってください」とのお言葉がとても印象的でした。

今回の講演をお聞きして、今一度自分の生活について振り返り、いま本当に必要なことをしているのか、今を精一杯生きているのかを、改めて考え直させられました。

今回の講演は、はじめてオンライン併用の形で開催し、地域の方や岡山県内の他大学のみならず、広島大学、鹿児島大学、熊本大学、西日本短期大学、北九州市立大学等、他県の学生さんや企業・行政の方にも多数ご聴講いただいた。更に、多くの方から「このような講演をお聴きする機会があって良かった」と、コメントを頂戴した。コロナ禍により、様々な困難があったが、講演会の開催にご協力いただいた皆様にこの場を借りて厚く御礼申し上げます。



悲しみは、聴講しているこちらにも胸が詰まって苦しくなるほどに感じられました。しかし、天国のご長女に「お父さん頑張っているね」と思って貰いたい、同じ苦しみを他の人に味わって欲しくないとお気持ちで、とてもお辛いだろうに、私達にとっても冷静に、克明に、お話を下さって、なお「一番大事にしたいのは感謝です」とおっしゃる姿勢に感動しました。



令和2年度総社市市民提案型事業の取り組みについて

2020.10.30

経営学部商学科 教授 高林 宏一

市民活動団体等が地域課題の解決等に向けた取り組みに対する補助事業「令和2年度総社市市民提案型事業」に応募し、「総社市昭和地区の活性化策」で採択を受け、活動を行っている。

コロナ禍の為、当初計画したとおりの事業は難しくなったが、工夫をしながら取り組みを行った。ここでは、2020年10月30日に開催された中間報告会で、学生(高林研究室4年の山崎千恵子、伊藤勇大)が行った発表から取り組みをご紹介します。

私たちは昨年度から昭和地区の現状から、地域の特

性を生かしたイベントを開催しようと昭和地区を異文化交流の場として発展させるため、「異文化交流 物々交換会 in 美袋」の活動を行っており、また岡山商科大学の強みである県内トップの留学生数を活かし、異文化交流を行う上で留学生や大学内にある孔子学院の先生からの協力を得つつ、活動しています。

今年度も昨年度のように物々交換会・ステージイベント・出店を行い異文化交流の場を設ける予定でしたが、新型コロナウイルスの影響もあり、昨年と同様のイベントを開催するのは難しいとの結論に至りました。

そのため、7月に昨年イベントに協力してくださった



昭和地区・美袋で活動している「昭和暮らし」「あそびのきちおひさま」の皆さんと今年度のイベントについてのミーティングを行い、ご意見を伺ったところ、地域住民の方々の不安の声もあり、イベントを行うことに賛成する方は少なく、今年度は開催をやめておいてほしいという声が多かったです。

来年以降に繋ぐためにも、なんとか開催する方法はないかと話し合いを行った結果、今年度は外部との接触を避けるため、オンラインでのシェアリングエコノミーを活用したイベント「オンライン交換会 in 美袋～昭和地区の魅力を発掘しよう～」を開催することにしました。

コロナ禍の今、リモートワークやリモート授業、オンライン就活を経験したうえで、モニター越しでもイベント開催はできるのではないかとという疑問から生まれた新しい取り組みです。

事業計画書ではホームステイについての活動も記載してありましたが、これもまた新型コロナウイルスの不安があることや留学生の入国がストップしていたこともあり、今年度の活動は中止とし、来年度に繋ぐためにホームステイについてのアンケートやインタビューのみ行うことにしました。

事業計画書での予算の使い道として、主に交通費・宣伝広告費をあげており、本来であればチラシ配りにて広報活動を行う予定でしたが、感染リスクや諸事情を踏まえたうえで中止となり、宣伝広告費としての予算は使うことができていません。

その代わりに、昭和地区の魅力を伝えるためのPVを地域の方々に協力していただきながら作成しています。住民の方々の日常や知識、例えば昭和地区の景色や地域の方々の会話、農作業等の知識等を映像化して外に発信することで昭和地区に訪れることや住むことの魅力を発信していきたいと考えています。

また、異文化交流のイベントやホームステイのイベントについても今までの画像等を使ってPVを作成し、今後はオンラインでの広報活動を目指していきます。

写真は10月17日に行った「オンライン交換会 in 美袋～昭和地区の魅力を発掘しよう～」の様子です。



地域の方々がいる美袋駅前にある昭和公民館と私たち学生がいる大学の教室をビデオ通話アプリの「Zoom」と「LINE」を使って繋ぎ、モニター越しにアンケート・インタビューを行い、地域のニーズ等の情報を提供してもらい代わりに私たちが身近な方から集めた物品を持ち帰ってもらうという内容です。

昨年行った異文化交流 in 美袋をオンラインでやってみようということで、出店とステージイベントもなく、参加者は感染リスクのことを踏まえて最小限になってしまいましたが、何とか開催することができました。

行って見て感じた第一の課題点は「オンラインでのイベントでは快適なWi-Fi環境が必要である」ということです。回線の不調により途切れることが多く、参加者の方々に迷惑をかけてしまったこともあり、今後解決策を見つけなければならない課題だと感じています。

参加者の方々からは、新しい取り組みに参加できてよかった。刺激を受け、今後地域に何が必要なのかを考えさせられた等の感想をいただいております。幅広い年齢層の方とのつながりもでき、今後も地域の方々と協力して活動ができるよう、来年度に繋がるイベントになったのではないかと感じています。

今後の取り組みについては、引き続き昭和地区の魅力を発信するためのPVの作成や、コロナ収束後に開催予定のホームステイイベントについてのアンケートやインタビュー、留学生への呼びかけ等を中心に行っていく予定です。社会情勢や住民の方々の意見を踏まえながら、異文化交流イベントの定期開催に向けて活動していきたいと考えています。

「毎年この地域ではこんなイベントをやっているよね!」という認知度を広げ、訪れてみたいと思わせることは地域活性化において重要な事です。その為には今後も継続的な開催が必要であり、資金面・広報において、行政の協力を継続的に得たいと考えています。



総社市・令和2年度 インターンシップ成果報告会について

産学官連携センター

本学は2020年8月27日（木）に県内10番目となる自治体との協定を総社市と締結いたしました。協定には、人材育成を行うことが盛り込まれており、調印式前日の8月26日（水）から、経営学部・商学科・3年の中山颯真さんが、総社市役所のインターンシップ生として着任しました。調印式当日は総社市の職員として立派に司会進行役を務めました。

そのインターンシップ成果報告会が、2021年2月8日（月）に総社市役所において行われました。報告会では、インターンシップ生から政策提言が行われることになっており、主に消防署で実習を行った中山さんは「総社の防災力を高める」と題し、予告の無い避難訓練の実施、防災VRで災害の恐ろしさを体験してもらうこと、災害時の移動手段としてコミュニティバス「雪舟くん」を積極的に活用することなどを発表しました。報告会には、総社市長、総社市副市長、教育長、総合政策部長、消防長なども出席し、中山さんにそれぞれ具体案について質問を投げかけました。

総評で、ゼミ担当の高林宏一教授からは「ゼミで3年間、地域をテーマとして学んでいる。地域コミュニティについての理解は進んでいるように思う。今後は地域の外国人へも訴求できれば良い。卒業論文に向けて取り組んでほしい」との評価がありました。

片岡市長からは「避難は誰もしたくない。避難は良いものだと思うような避難訓練を考えてほしい。また、コロナ禍対応やペットの避難についても考える必要がある。発想力を培ってほしい」との評価がありました。

最後にインターンシップの受け入れを行った消防署の中山消防長から「避難は90%の人が自ら行わないといけなので、各自の防災力が重要。防災VRは災害の恐ろしさを知ってもらう上で良いと思う」との評価がありました。

その後、総社市長から修了証の授与があり、閉会しました。



多くの関係者が集まる中、政策提言を行います



最後に修了証が手渡されました



片岡総社市長（左）から色紙が贈られました。
中山さん（中）の右隣はゼミの高林宏一教授



8月27日の総社市との包括協定調印式において
司会進行役を務める中山さん

2020年度はコロナ禍により、思うように活動が進みませんでした。岡山商科大学では「地域と呼吸する大学」として、市町村との協定に基づく教育研究の推進や大学の学びを現場で実践するフィールドスタディ等を行い、各地域と連携しながら教育研究事業を進めております。

商大レビューでは、20号より「フィールドスタディ(学生参画型研究)」と題して掲載してきました。産学連携に関する包括連携協定を締結した行政機関を通して、2005年度から今までの活動を振り返ってみたいと思います。

フィールドスタディー一覧	
新庄村(2005年4月)	実施年度
新庄村学生フィールド調査「商大生新庄村まるごと体験ツアー事業」	(2005年度～2012年度)
「アジア有機農業プラットフォーム推進条例」にかかるヒメノモチ田植えや鴨肉販売チラシ作成協力	(2011年度)
新庄村商大生フィールド調査「がいせん桜通りを活かすには?」	(2013年度)
講義「商学特殊講義I(フィールドスタディI)」	(2013年度～2014年度)
受託研究「地域資源の活用による中山間地域の活性化策についての提言」	(2014年度)
新庄村メルヘンの里盆踊り	(2015年度)
笠岡市(2007年9月)	実施年度
笠岡諸島	
共同研究「笠岡諸島における持続可能社会を基本にした振興策の研究」の実施	(2008年度、2009年度)
岡山県・おかやま大学生中山間地域等研究・連携促進事業 「笠岡諸島における観光の可能性に関する調査研究」	(2015年度～2016年度)
真鍋島小・中学校・公民館合同運動会への参加	(2016年度～2019年度※)
真鍋島にんにく畑開墾作業	(2017年度)
真鍋島にんにく収穫作業	(2018年度)
農林水産総合センターフェアにおける真鍋島にんにく加工品販売	(2018年度)
真鍋島の観光振興調査	(2018年度)
その他	
「笠岡市の商店街活性化に関するアンケート調査」の実施	(2010年度)
「キッズマネー教室 in 笠岡」の実施	(2011年度)
教職フィールドスタディ「先輩の教育実習生の研究授業見学」	(2020年度)
瀬戸内市(2011年7月)	実施年度
福岡の市	
受託研究「『備前福岡の市』の調査から見た現状と今後の課題」の実施	(2012年度)
福岡の市の販売業務とイベントへの参加	(2013年度～2014年度)
福岡の市と関連施設の視察	(2013年度)
福岡の市の行事への出演	(2013年度)
福岡の市の行事の支援	(2014年度)
その他	
受託研究「『エヴァンゲリオンと日本刀展』による地域活性化事業」の実施	(2012年度)
受託研究「デマンドバスの運行による市民活動影響調査事業」の実施	(2012年度)
受託研究「牛窓オリーブ園の更なる活性化によるまちづくり」の実施	(2012年度)
オリーブ園・観光資源をもっと知ってみる	(2013年度)
「幸せなまち 牛窓～それぞれのふるさと～」のテーマで作品づくり	(2013年度)
空き家活用に関するヒアリング調査	(2018年度)

岡山市 (ESD 推進) (2013 年 9 月)	実施年度
コンソーシアム岡山	
エコナイト「セタライトダウン in 岡山」	(2013 年度～2019 年度※)
日ようびこども大学「キッズマネー教室」	(2013 年度～2019 年度※)
地域貢献ボランティア活動「キッズマネー教室」発表	(2020 年度)
京山公民館	
京山地区 ESD フェスティバル	(2013 年度～2020 年度)
京山で地球めぐりに参加協力	(2019 年度)
浴衣をきて日本文化体験に参加協力	(2019 年度)
発想法ワークショップ	
岡山商工会議所企画「新商品・新サービスを発想するワークショップ」	(2013 年度)
岡山商工会議所共催「発想法ワークショップ」	(2014 年度～2018 年度)
岡山商工会議所小規模事業者支援推進事業「新発想ワークショップ」	(2016 年度)
岡山商工会議所共催「事業者別発想法ワークショップ」	(2017 年度～2018 年度)
瓦工事協同組合ワークショップ	(2017 年度)
発想法ワークショップ「瓦工事協同組合西日本ブロック大会」	(2018 年度)
商大講座「発想法ワークショップ」	(2018 年度)
岡山商工会議所共催「実践型ワークショップ」	(2018 年度)
その他	
FP コース・会社見学会	(2014 年度～2017 年度)
投資家と学生のための会社説明会	(2014 年度～2020 年度)
キッズビジネスパーク	(2015 年度～2019 年度)
博物館資料の取り扱い—古文書・典籍—	(2015 年度～2017 年度)
博物館実地実習	(2015 年度～2017 年度)
岡山中央卸売市場「いちば大学」	(2015 年度～2016 年度)
「犯罪被害者支援ボランティアサークルつぼみ公開講演会」	(2017 年度～2020 年度)
芳賀地区の農家との共同生産と販売—清水白桃と野菜を対象に—	(2018 年度～2019 年度)
浪漫ティック奉還祭での「税金ゲーム」運営補助	(2018 年度～2019 年度)
経済学部インターンシップ研修	(2018 年度～2019 年度)
刑務所見学	(2013 年度)
岡山まちの夢 学生冬フェスティバル「つなおか 2014」	(2013 年度)
「第 4 回おかやまローカルアソシエイト in 岡山商大」	(2013 年度)
講義「商学特殊講義 I (フィールドスタディ I)」	(2014 年度)
博物館資料の基礎作業—写真撮影技術—	(2015 年度)
日本商工会議所青年部 第 35 回全国大会 晴れの国おかやま大会	(2015 年度)
平成 30 年 7 月西日本豪雨災害ボランティア活動	(2018 年度)
「五城どろりんピック」運営補助	(2019 年度)
研究演習 2 年 (大石ゼミ)	(2020 年度)
教職フィールドスタディ「岡山県議会見学と議会傍聴」	(2020 年度)
教職フィールドスタディ「裁判所の見学及び裁判傍聴」	(2020 年度)
教職フィールドスタディ「先輩の教育実習生の研究授業見学」	(2020 年度)
外国人向けゴミ出し動画制作事業への協力	(2020 年度)
ハレルワークショップ「めぐるあるくストーリーと」への参加協力	(2020 年度)
野村證券寄附講座	(2020 年度)
人生 100 年時代の社会人基礎力地区予選大会への出場	(2020 年度)

備前市 (2014年3月)	実施年度
日生カキオコまちづくりの会	
カキオコブース出店協力	(2017年度～2019年度※)
ヒナセ♡ノミーノスタッフ協力	(2017年度)
備前若者カキオコワークショップ	(2017年度)
日生カキオコまちづくりの会主催「日生海のそば試食検討会」	(2018年度)
海のそばワークショップ	(2018年度)
日生カキオコまちづくりの会主催「高校生&大学生「日生海のそば」Lab.」	(2019年度)
日生カキオコまちづくりの会委託事業・カキオコ動画制作	(2020年度)
その他	
経済学部留学生オリエンテーション	(2016年度)
基礎演習2年(大石ゼミ)	(2016年度)
「備前醤油の歴史・現状・展望の調査」のためのフィールドスタディ	(2017年度)
岡山県「地域を学んでのこさずたべよう事業」	(2019年度)

津山市 (2014年5月)	実施年度
津山商業高校	
津山商業高校共催「岡山商科大学国際交流特別講義—中国文化プログラム」	(2012年度～2020年度)
津山商業高校主催「高校生によるガイドツアー津山ようこそ2020」	(2019年度)
その他	
「商大生によるエコビレッジ阿波まちづくり提案型」事業	(2011年度)
受託研究「経済産業省・まちなか健康サポート施設整備調査分析事業」の実施	(2013年度)
阿波納涼祭りの事前準備と支援	(2013年度)
第1回あばファンクラブ寄り合いへの参加	(2013年度)
受託研究「経済産業省・まちなか健康サポート施設2号店(飲食ゾーン)整備調査分析事業」の実施	(2015年度)
若者による少子化対策プロジェクト	(2016年度)
博物館見学実習	(2016年度～2017年度)
津山市地域・大学連携事業「婚活支援のフィールド調査」	(2017年度)
津山城下町雑めぐりの運営協力	(2017年度)

真庭市 (2015年11月)	実施年度
湯原・蒜山地区	
湯原温泉での実務体験実習	(2005年度～2010年度)
湯原観光協会協力「観光サービス実習」	(2011年度、2019年度)
湯原温泉郷「6.26 露天風呂の日」の運営協力	(2013年度～2019年度※)
湯原温泉郷「はんざき祭り」の運営協力	(2013年度～2019年度※)
講義「商学特殊講義I(フィールドスタディI)」	(2013年～2014年度)
講義「観光地計画論」	(2015年度～2019年度※)
クリスマスキャンドル in 砂湯	(2013年度)
第10回温泉かけ流しサミットの支援	(2014年度)
湯原温泉のイベント協力、観光客に対するアンケート調査	(2017年度)
湯原温泉旅行プラン作成ワークショップ	(2018年度)
社地区	
社祭り(式内八社の大祭)	(2016年度～2019年度※)
社地区竹灯籠づくり	(2017年度～2019年度※)
さとまちフェスタ運営協力	(2017年度)

北房地区	
AZAE プロジェクト「キック・オフワークショップ」	(2018 年度)
AZAE プロジェクト「北房お大師めぐり・蔵開きイベント調査」	(2018 年度)
AZAE プロジェクト「北房お大師めぐり再調査」	(2018 年度)
AZAE プロジェクト「皆部小学校 CLT 見学会イベント他」	(2018 年度)
日本の農村 北房お大師めぐり お寺体験モニターツアーへの参加協力	(2018 年度)
AZAE プロジェクト「春のお大師めぐり調査」	(2019 年度)
AZAE プロジェクト「ホテルのタベ in あざえ横丁」 夜間特別案内	(2019 年度)
「ホテルのタベ in 北房」 運営補助	(2019 年度)
AZAE プロジェクト「秋のお大師めぐり調査」	(2019 年度)
AZAE プロジェクト「真庭イルミネーション・北房まち駅祭り運営補助」	(2019 年度)
北房まちの駅大掃除	(2019 年度)
AZAE プロジェクト「北房ぶり市運営補助」	(2019 年度)

農林水産省中国四国農政局 (2018 年 1 月)	実施年度
北房農泊推進協議会モニターツアー	(2017 年度)
たまの農山漁村魅力向上推進協議会「農泊モニターツアー」	(2018 年度)
奥出雲町農泊推進協議会「農泊モニターツアー」	(2019 年度)
中国四国農政局インターンシップ	(2018 年度～2019 年度※)

玉野市 (2019 年 5 月)	実施年度
教職フィールドスタディ「先輩の教育実習生の研究授業見学」	(2020 年度)

総社市 (2020 年 8 月)	実施年度
吉備信用金庫・キッズマネー教室	(2013 年度～2019 年度※)
平成 30 年 7 月西日本豪雨災害ボランティア活動	(2018 年度)
総社市市民提案型事業 「異文化交流会を通じた昭和地区「まちとひと」の活性化事業」	(2020 年度)
総社市役所就業体験	(2020 年度)
総社市就業体験報告会	(2020 年度)

その他	実施年度
○井原市	
岡山県高等学校教育研究会 地理歴史・公民部会公民分科会参加	(2013 年度)
○西粟倉村	
新しい金融システム(クラウドファンディング)を活用した地域活性化についての 実態調査	(2013 年度～2014 年度)
○矢掛町	
FP コース・フィールドスタディ	(2015 年度)
備中県民局「人づくり・地域づくり応援隊事業」	(2016 年度、2020 年度)
○倉敷市	
博物館見学実習	(2015 年度)
「備前醤油の歴史・現状・展望の調査」のためのフィールドスタディ	(2018 年度)
平成 30 年 7 月西日本豪雨災害ボランティア活動	(2018 年度)
「子どもたちに笑いを!!桂かい枝がやってくる」運営補助	(2019 年度)
「みんなで笑おう たけのこ寄席」運営補助	(2019 年度)
教職フィールドスタディ「先輩の教育実習生の研究授業見学」	(2020 年度)

○美作市	
海田天日干し番茶プロジェクトへの協力	(2016年度～2019年度)
○里庄町	
里庄まこもたけ収穫体験事業	(2017年度)
里庄町「里庄まこもたけブランド化推進検討支援事業」	(2018年度～2019年度)
○高梁市備中町	
備中県民局「人づくり地域づくり応援隊事業」	(2019年度)
○徳島県神山町	
テーマパークデザイン論	(2014年度～2019年度※)
○香川県	
直島・高松市：研究演習3年(島田ゼミ)	(2014年度)
直島：博物館見学実習	(2015年度～2017年度)
○愛媛県	
松山大学：社会人基礎力育成グランプリ	(2016年度～2019年度)
○高知県	
大川村梅収穫祭への参加	(2018年度)
○島根県	
石州和紙会館：国際観光論フィールドスタディ	(2015年度～2019年度)
○鳥取県	
鳥取市：「リノベーションまちづくり」現地視察、空き家再生事業に関する調査	(2018年度)
○広島県	
厳島神社：国際観光論フィールドスタディ	(2015年度～2019年度)
広島市・福山市：博物館見学実習	(2015年度～2017年度)
尾道市・広島市：FPコース・定例合宿～空き家再生に関する現地調査～	(2016年度)
○兵庫県	
姫路市：博物館見学実習	(2015年度～2017年度)
高砂市：「備前醤油の歴史・現状・展望の調査」のためのフィールドスタディ	(2019年度)
○大阪府	
「就職合宿～キャリアセンター×商大塾～」	(2015年度)
○東京都	
東京研修	(2018年度～2019年度)
拓殖大学：人生100年時代の社会人基礎力グランプリ(全国大会)への出場	(2019年度)
海外	実施年度
○韓国	
講義「観光サービス実習」	(2013年度～2017年度)
ハングル語学研修	(2019年度)
○アメリカ合衆国(グアム島)	
講義「商学特殊講義II(フィールドスタディII)」	(2013年度～2014年度)

※…2020年度はコロナ禍により、中止となったが今後も継続する事業。
場合によっては、※をつけていなくても継続する事業もある。

フィールドスタディの取り組み

with コロナ
特別号

本学は、「地域と呼吸する大学」、つまり地域に関する知識を有する人材育成及び学生の現場力、地域力を高めることなど、実践教育活動を必要欠くべからざるものと考えています。こうした考えにもとづき地域実践活動を学生参画型で行うことにより、本学の学生の実践教育、教員の教育・研究活動をより多くの方に知っていただき、地域のみならずとのさらなる連携を実現してまいります。

1 総社市市民提案型事業 異文化交流会を通じた昭和地区 「まちとひと」の活性化活動

2020.2～2021.1

総社市昭和地区、昭和公民館他

高林宏一研究室研究ゼミ3、4年生7名

- 地域コミュニティ団体、複数NPO等との協議会開催。
- 各SNSでの広報。
- 美袋公民館とのオンライン交換会開催と各調査実施。

商学科 高林宏一 教授



8 備中県民局 人づくり・地域づくり応援隊事業

2020.9.26、10.24、11.28、29

2021.1.16

矢掛町山ノ上地区

経営学科：1名

商学科：1名

- 岡山大学の学生と共に矢掛町山ノ上地区の特産品である干柿の作業を手伝うと共に地域資源を見つけ、ヒアリング調査を行う。
- 報告会では地域の方の前で3テーマに分かれて発表した。

産学官連携センター



2 岡山商科大学国際交流特別講義 —中国文化プログラム

2020.6.12～12.11

岡山県立津山商業高校 (Zoom)

津山商業高校 生徒：4名

- 中国語を学ぶと共に、日本や中国の文化を比較しながら交流をする。例年では交流事業として水餃子づくりや中国文化体験等を行うが、今年度はコロナ禍により講座のみ実施。

岡山商科大学孔子学院

副学院長 李 燕、講師 朴慧淑

ボランティア講師 陳海文

3 総社市役所インターンシップ

2020.8.26～31

総社市役所

商学科：1名

- 総社市消防本部にて、全般的な消防業務を学び、各種災害に対応するための訓練等に携わり、「総社の防災力を高める」と題した政策提言書を提出した。

商学科 高林宏一 教授、産学官連携センター



4 研究演習 2年 (大石ゼミ)

2020.9.2

岡山市中心部

商学科 7名

- 岡山駅から後楽園までを歩き、城下町形成の特徴について解説するとともに、観察による情報収集を実施した。

商学科 大石 貴之 准教授



10 外国人向けゴミ出し動画制作事業への協力

2020.10.28、11.7、12.6、12.20

岡山県生涯学習センター

留学生：4名

- NPO 法人岡山県国際団体協議会 (COINN) と共に、来日したばかりの外国人向けにゴミの分別方法や指定日等を周知する啓発動画を留学生の意見も取り入れながら制作した。

産学官連携センター



5 教職フィールドスタディ 「岡山県議会見学と議会傍聴」

2020.9.16

岡山県議会

経営学科及び商学科の教職課程履修者：6名

- 事務局の方による議場説明。
- 県議会傍聴。

商学科 吉田 信 教授



6 教職フィールドスタディ
「先輩の教育実習生の研究授業見学」

2020.9.17, 18
2020.11.6, 10, 16
岡山県立倉敷商業高校(倉敷市)、玉野市立玉野商工高校(玉野市)、岡山県立笠岡商業高校(笠岡市)、岡山県立岡山商業高校(岡山市)、岡山商科大学附属高校(岡山市北区)
経営学科及び商学科の教職課程 3年生履修者:25名
●4年生の先輩の教育実習の研究授業を見学させてもらい、3年生が来年の教育実習に備える。校内の見学や生徒との会話、校長先生のお話などいただいた。
商学科 吉田 信 教授



7 教職フィールドスタディ
「裁判所の見学及び裁判傍聴」

2020.9.23
岡山地方裁判所
経営学科及び商学科の教職課程履修者:8名
●広報官によるガイダンス及び空き法廷の見学。
●裁判の傍聴。
●傍聴後裁判官との質疑応答。
商学科 吉田 信 教授



16 京山公民館 ESD フェスティバル

2021.1.23 ~ 24
岡山市北区京山地区
教職員参加なし
(動画や提言にて参加)
●NPO 法人岡山県国際団体協議会 (COINN) が制作する外国人向けゴミの捨て方啓発動画に留学生在が協力したことが紹介された。
●コロナ禍で考えたこと、コロナを乗り越えて、地域で支え合うまちづくり・SDGs 推進のために取り組みたいことについて提言を提出。
産学官連携センター

17 総社市役所インターンシップ報告会

2021.2.8
総社市役所
商学科:1名
●「総社の防災力を高める」と題して、予告のない避難訓練の実施、防災VRで災害の恐ろしさを体験してもらうこと、災害時の移動手段としてコミュニティバス「雪舟くん」を積極的に活用すること等を発表する。
●報告会には、総社市長他、副市長、教育長、総合政策部長、消防長なども出席し、それぞれ具体案について質問を行う。
商学科 高林 宏一 教授
産学官連携センター



13 日生カキオコまちづくりの会委託事業・カキオコ動画制作

2020.11.17
2021.2.17
備前市日生町
商学科:3名
●同会より依頼を受け、2班に分かれて実施。
●お好み焼き店舗、五味の市他をめくり、まち歩きの様相も含めて撮影。
●動画は学生が編集し、同会ホームページにて掲載されると共に You Tube においても公開中。
商学科 三好 宏 教授
産学官連携センター



9 地域貢献ボランティア活動
「キッズマネー教室」発表

2020.10.27
大学コンソーシアム岡山(オンライン発表)
商学科 FP コース 2 年生:17名、代表発表者 3 名
●大学コンソーシアム岡山主催の双方向ライブ型オムニバス授業において、「日よび子ども大学」で実施している「キッズマネー教室」の成果発表ならびにゼミにおいて検討してきたコロナ禍における感染対策を施した実施計画案の提案を行った。
商学科 海宝 賢一郎 教授



15 「令和 2 年度・岡山県人権啓発パートナーシップ推進事業」
つばみ公開講演会「あすに希望を託して～逆境から学んだこと～」

2020.12.2
岡山商科大学
法学科:150名
●長女の命を奪われた加藤裕司さんを講師にお招きし、ご自身の体験を踏まえ、犯罪被害者の権利や裁判のあり方についてお話しいただいた。初めてオンラインも併用し、他県他大学の多くの学生にも聴講してもらえた。
法学科 加藤 摩耶 准教授



11 日生カキオコまちづくりの会委託事業・カキオコ動画制作試作会

2020.11.12
岡山商科大学
経営学科:1名
商学科:3名
●日生カキオコまちづくりの会からホームページ更新に伴う学生によるカキオコ紹介動画制作の依頼を受ける。
●同会役員から事業説明をうけた後、大学にて、実際にカキオコを作り、動画制作のリハーサルを行う。
商学科 三好 宏 教授
産学官連携センター



18 2020 年度社会人基礎力育成グランプリ
地区予選大会への参加

2021.2.13
Zoom
経済学科(3年生):有志 2 名
●今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、Zoom にて大会が開催された。
●井尻ゼミより 2 名の参加があり、発表した。
経済学科 井尻 裕之 准教授

19 日生カキオコまちづくりの会委託事業・カキオコ動画制作

2021.2.22
岡山商科大学
卒業生:1名
●真庭市地域おこし協力隊であり、同会の出店協力やアルバイト経験がある卒業生に焼き手として参加してもらい、自宅でするカキオコ動画を制作。
産学官連携センター



12 ハレルワークショップ
「めぐるあるくストーリーと」への参加協力

2020.11.14, 15
岡山市北区表町三丁目周辺
経営学科:1名
商学科:1名
●(公財)岡山文化芸術創造から依頼を受け、俳優兼演出家である有門氏が行う街歩きワークショップに参加。
●岡山芸術創造劇場ができる表町三丁目を歩きながら撮影した写真をもとに物語の絵を作成し、「お話岡山地図」を完成させた。
産学官連携センター



14 野村證券寄附講座

2020.12.1, 8, 15, 22
2021.1.12, 19
野村證券岡山支店 (Cisco Webex)
経済学科:2名
経営学科:4名
商学科:5名
●日々の市場動向を「Nomura Weekly (野村ウィークリー)」を活用して、分かりやすく解説していただく寄附講座。
●株価チャートの見方や最新の投資テーマについても学ぶことができた。
産学官連携センター

20 ハレルワークショップ
「めぐるあるくストーリーと」への参加協力

2021.3.6, 7
岡山市北区表町三丁目周辺
留学生:1名
●(公財)岡山文化芸術創造から依頼を受け、劇作家である柴氏が行う街歩きワークショップに参加。
●岡山芸術創造劇場ができる表町三丁目を歩きながら撮影した写真をもとに新しい物語を作成し、「物語地図」を完成させた。
産学官連携センター

NPO 法人岡山県国際団体協議会の 「ゴミ出し動画制作事業」への協力

産学官連携センター

NPO 法人岡山県国際団体協議会 (COINN) は、国際理解や国際交流などを行う団体の連合組織として、ESD に関連した様々な課題に対して、ユネスコや自治体などと連携して解決に向けた取り組みを行っています。2020 年 10 月 9 日、COINN スタッフの大倉美恵さんから、岡山市内に在住する外国人によるゴミ出し問題への対応を目的とした動画を作成することを企画しており、本学の留学生に協力をお願いできませんか、との依頼がありました。

依頼の内容は、来日して日が浅い外国人は、ゴミの分別方法や指定日を知らないことがあり、地域住民とトラブルになることがある、その問題を解決し、外国人も地域の一員として快適に岡山市での生活を送ってもらうため、視覚で理解できる啓発動画を制作することが有効と考えたこと、制作にあたっては留学生の意見を聞き、出演もお願いしたいとのことでした。

動画制作に協力してくれる留学生を学生課が募集したところ、中国からの留学生、張倩 (チョウ セイ) さん、塗智強 (ト チキョウ) さん、韓国からの留学生、張恩瑞 (ジャン ウンソ) さん、金元泰 (キム ウォンテ) さんの 4 名が参加してくれることになりました。

2020 年 10 月 28 日に、岡山県生涯学習センターで第 1 回目の打ち合わせがあり、COINN スタッフ、動画を制作事業社等の皆さんと、意見交換が行われました。留学生からは、マンションに入居する際にゴミの出し方を教えてもらい決められた曜日に出していること、指定

袋は学生寮で教えてもらったり、スーパーで販売しているので知っていること、部屋には分別用のゴミ箱を3つ置いていること、母国ではゴミ捨て場に監視カメラがあり、悪質な場合は罰金刑や拘禁刑などが科されることの話がありました。その結果、外国人がゴミをきちんと出していないという思いが変わったこと、また、地域の人がゴミステーションを清掃していることを知り、日本人のゴミに対する意識がわかった、など相互理解を深めることができました。その上で、どのような動画を作ると外国人にとって理解しやすいものになるのか、シナリオについても幅広く意見を求めていくことになりました。

その後も、打ち合わせや撮影会を重ね、2021 年 1 月 23 日を中心に開催された第 16 回京山地区 ESD フェスティバルで動画制作の様子が紹介されました。撮影終了後に COINN スタッフからは、「塗さんは、いつも周囲の人への心配りをしてくれ、撮影機材等の運搬から助手までしてくれました。」「張さんも、最初と最後のナレーションを暗記しようと努力してくれました。(みんなと一緒に撮影時が日本語検定と重なりましたので、そのシーンには出演しておりません)」「金さんは、いつもアイデアを出して工夫してくれました。」「張さんは、クールなようで可愛い表情で画面に魅力を与えてくれました。」と感謝のコメントをいただきました。



2020 年 10 月 28 日の打ち合わせの様子



2020 年 11 月 7 日の打ち合わせの様子

この動画制作事業は、NPO 法人岡山県国際団体協議会が岡山市人権啓発活動補助金対象事業として採択を受け実施されています。

総社市・令和2年度 インターンシップ成果報告会について

産学官連携センター

本学は2020年8月27日（木）に県内10番目となる自治体との協定を総社市と締結いたしました。協定には、人材育成を行うことが盛り込まれており、調印式前日の8月26日（水）から、経営学部・商学科・3年の中山颯真さんが、総社市役所のインターンシップ生として着任しました。調印式当日は総社市の職員として立派に司会進行役を務めました。

そのインターンシップ成果報告会が、2021年2月8日（月）に総社市役所において行われました。報告会では、インターンシップ生から政策提言が行われることになっており、主に消防署で実習を行った中山さんは「総社の防災力を高める」と題し、予告の無い避難訓練の実施、防災VRで災害の恐ろしさを体験してもらうこと、災害時の移手段としてコミュニティバス「雪舟くん」を積極的に活用することなどを発表しました。報告会には、総社市長、総社市副市長、教育長、総合政策部長、消防長なども出席し、中山さんにそれぞれ具体案について質問を投げかけました。

総評で、ゼミ担当の高林宏一教授からは「ゼミで3年間、地域をテーマとして学んでいる。地域コミュニティについての理解は進んでいるように思う。今後は地域の外国人へも訴求できれば良い。卒業論文に向けて取り組んでほしい」との評価がありました。

片岡市長からは「避難は誰もしたくない。避難は良いものだと思うような避難訓練を考えてほしい。また、コロナ禍対応やペットの避難についても考える必要がある。発想力を培ってほしい」との評価がありました。

最後にインターンシップの受け入れを行った消防署の中山消防長から「避難は90%の人が自ら行わないといけなので、各自の防災力が重要。防災VRは災害の恐ろしさを知ってもらう上で良いと思う」との評価がありました。

その後、総社市長から修了証の授与があり、閉会しました。



多くの関係者が集まる中、政策提言を行います



最後に修了証が手渡されました



片岡総社市長（左）から色紙が贈られました。
中山さん（中）の右隣はゼミの高林宏一教授



8月27日の総社市との包括協定調印式において
司会進行役を務める中山さん

総社市との包括協定の締結について

本学では、これまで岡山县内9つの市町村※と「連携に関する協定」を結び、学生のフィールドスタディ（現地学習）、地域活性化の研究や事業に取り組んできました。2020年8月27日（木）に10番目となる協定を総社市と締結いたしました。

総社市では、これまで、経営学部経営学科・渡邊憲二教授が、総社市を研究のフィールドとし「地域特性におけるフードビジネスと地域振興 岡山県総社市のパンを事例に」（井尻昭夫・江藤成博・大崎紘一・松本健太郎（編）（2018）、『フードビジネスと地域』ナカニシヤ出版 211-222）を執筆する活動を行い現在も継続しています。

その他、経営学部商学科・高林宏一教授は2013年から吉備信用金庫と連携し、学生によるシナリオ手法を用いたキッズマネー教室など、地域の金融リテラシーの向上に取り組む活動を行ってきました。また、同教授は、市民活動団体等が地域課題の解決等に向けた取り組みに対する補助事業「令和2年度総社市市民提案型事業」に応募し、「総社市昭和地区の活性化策」で採択を受け、活動を実施しています。

「平成30年7月西日本豪雨」の際には、甚大な被害を受けられた総社市美袋地区で7月14日（土）には21名、7月16日（月）には12名の学生・教職員が、ボランティア活動に従事しました。同災害時における総社市の対応については、2019年12月12日（木）に片岡総社市長から「大災害は市役所の実力テスト」と題したご講演をいただきました。

これら様々な分野で協力し事業を行っている総社市と結びつきをさらに強めることは、産学官連携活動をより強固なものとし、両者にとってさらなる発展が期待されることから、今回の協定締結となりました。

調印式では、片岡市長から「平成30年7月豪雨による被災地に、商大のバスが来て学生がボランティア活動をしてくれた。大学が困っているときに総社市は必ず支援します。共に動き、果実が残るような協定にしたい」とご挨拶がありました。井尻学長からは「今回で10の市町村との協定が成り、座学で学んだことを、フィールドスタディを通じて現実とのギャップを埋めるといふ、本学の教育体制が明確になってきた。社会に有為な人材を育成していきたい」と挨拶がありました。協定には、人材育成を行うことが盛り込まれていますが、調印式前日の8月26日（水）から、経営学部・商学科・3年の中山颯真さんが、総社市役所のインターンシップ生として着任しており、調印式では総社市の職員として立派に司会進行役を務めました。

※これまで協定を締結した市町村（締結順）／新庄村、笠岡市、瀬戸内市、岡山市、備前市、津山市、真庭市、和気町、玉野市



中国税理士会との税理士特設講座に関する協定の締結について

岡山商科大学大学院では、会計学と税法に関する教育により、税理士資格取得の門戸を広げてきました。その結果、税理士として活躍する卒業生は100名以上にも上ります。卒業生の税理士で組織される「商税会」では、会計のエキスパートを目指す後輩へのサポートをしてくれています。

また、全国の税理士会では、税務の知識を、より専門的・体系的に伝えるため、単位取得できる「寄附講座」の展開を進めています。中国税理士会からの提案により、岡山県内の大学としては初となる「税理士による租税講座」を、2019年度から開講しています。

そして今回、岡山商科大学大学院法学研究科において、税理士の方々が税務に関連する法律的諸問題について学ぶ機会を設け、法律家としての専門的な知識をさらに高めていただくことを目的とする協定を新たに締結しました。2021年度から税理士特設講座として開講します。

2020年11月12日に行われた協定締結式では、井尻学長が「中国税理士会とは2003年から特設講座を開設するなど密接なつながりをもってきている。寄附講座もご提供いただいております。学生は、理論だけでなく実務についても学ぶことができます。こうした連携のこれからの発展にも期待している」と挨拶をいたしました。

中国税理士会の海老澤会長から「これまでの税理士特設講座では、租税訴訟へ補佐人として出廷するために必要な法律を学ぶことができました。今回の特設講座では、税理士業務にかかわる法律問題を学問として学ぶ機会をいただくことができます。良い成果を上げていきたい」とのご挨拶をいただきました。

この調印式については、2020年11月14日の山陽新聞でも紹介されました。



文部科学省 私立大学研究ブランディング事業

副学長 大崎 紘一

2017年度採択された文部科学省私立大学研究ブランディング事業は2020年3月で3年間の研究活動の期間が終了した。期間の終了にあたり地域での報告会や研究会、締めくくりのシンポジウムを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、開催ができなくなったことは、研究成果の地域還元、ステークホルダーへの認知度の向上を目的の一部にしていたので、気にかかるところであった。しかし、WEBによるアンケート調査を実施した結果、3年間の地域での活動、報道発表などにより、研究に関する認知度は、企業の方々、地方自治体の方々では、3年前に比べ目標の70%に近い数値が示され、研究により、本学の認知度を高めることができたと考えている。

研究内容については、採択の1年目から、研究成果のあがっている「フードビジネス」に関する5研究テーマについては、先行して二松學舎大学と共同研究協定に基づく成果として著書の発行を進めていたので、共同研究成果出版の著書（『フードビジネスと地域：食をめぐる文化・地域・情報・流通』、ナカニシヤ出版、2018.3、（213館,2021.0303検索））に納めることにした。更に、2018、2019年度研究を推進し、2019年度途中で研究の進んだ8研究テーマについて成果をできるだけ早く地域に還元したり、公表するために、二松學舎大学との共同研究成果として『大学と地域：持続可能な暮らしに向けた大学の新たな姿』、ナカニシヤ出版、2020.3、（112館,2021.03.03検索）に納め出版した。社会科学系の研究は区切りがつけにくい性質があるが、できた成果をできるだけ早く出版しておいたことは、新型コロナウイルス感染症の拡大までも予測できなかったが、16研究テーマの内12研究テーマについては、既に公表済みになっていることは、研究成果をとわれる事業においては図らずも良い結果

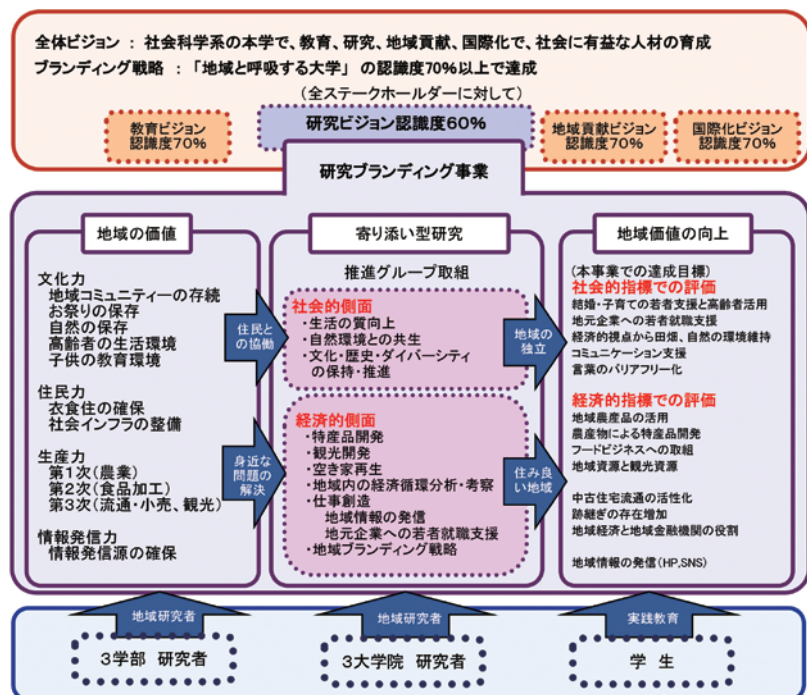
となった。

前述したように、コロナ禍で地域との交流、多くの方々を集めてのシンポジウムの開催が不可能になり、また先生方の教育における対面授業からオンライン授業への変更に伴う付加作業の増加により、研究まよめの進捗が遅れるという懸念があったが、16研究テーマの内15研究テーマについてまよめができ、2021年3月31日を目途に『寄り添い形研究による地域価値の向上』、大学教育出版で著書のまよめをしている。

本学において、本事業の実施とその成果は、大学としての研究ブランドの確立と、教員個別の研究を大学全体としての研究にまよめ上げることができるという方向性を見える化でき、教育、研究いずれにおいても「地域と呼吸する大学」としてステークホルダーの認知度を高める最初の取り組みになったと評価している。

この研究の推進にあたり、包括協定を締結した岡山県内8市町村の皆様方の地域での活動に本学の学生、教員が参画することにご協力いただかなければ、このような成果を上げることはできなかったと考えており、これまでのご協力への感謝と、今後のご協力をお願いする次第です。

構成図



科学研究費助成事業への取り組み

科学研究費助成事業（科研費）は、研究活動に必要な資金を研究者に助成するしくみの一つです。人文科学、社会科学から自然科学まで全ての分野にわたり、基礎から応用までのあらゆる「学術研究」（研究者の自由な発想に基づく研究）を格段に発展させること

を目的とする「競争的研究資金」であり、他の研究者による審査を経て、独創的・先駆的な研究に対して助成を行います。本学からも毎年多数の研究者が申請を行っており、令和2年度は以下の研究課題で研究費の交付を受けています。

2020年度採択中の科研費

研究種目・期間	研究課題	研究者（所属）
基盤研究（C） 2017～2020	アイトラッキング・データを活用した消費者行動の分析	大東 正虎【研究代表者】（経営学部・教授）
基盤研究（A） 2017～2021	イギリス公法争訟における違法性の判断構造に関する研究	伊藤 治彦【研究分担者】（法学部・教授）
基盤研究（B） 2017～2020	配偶子凍結保存の増加と「ライフプラン」「ジェンダー観」の変化に関する学際的研究	栗屋 剛【研究分担者】（法学部・教授） 穴戸 圭介【研究分担者】（法学部・教授）
基盤研究（B） 2018～2020	ハンセン病医療倫理学の創出に向けた学術的基盤の構築とカリキュラム開発	栗屋 剛【研究分担者】（法学部・教授）
基盤研究（B） 2018～2022	ビッグマイクロデータの匿名性評価手法の開発	佐井 至道【研究分担者】（経済学部・教授）
基盤研究（C） 2018～2020	児童・生徒の批判的思考力の発達に基づく小・中学校社会科授業モデルの開発研究	前田 健一【研究分担者】（経済学部・教授）
基盤研究（C） 2019～2021	「新しい診療拒否」に関する学際的研究	穴戸 圭介【研究代表者】（法学部・教授） 栗屋 剛【研究分担者】（法学部・教授）
基盤研究（C） 2020～2022	20世紀初頭価値哲学の反自然主義—現代価値論の再考のために	九鬼 一人【研究代表者】（法学部・教授）
若手研究 2020～2023	日本における量的・質的金融緩和政策の実体経済に対する効果の検証	井尻 裕之【研究代表者】（経済学部・准教授）
若手研究 2020～2023	消費者の誘惑と自制心を考慮した年金制度に関する研究	熊代 和樹【研究代表者】（経済学部・講師）
若手研究 2020～2023	金融リテラシー教育に関するアンケート調査研究	渡辺 寛之【研究代表者】（経済学部・助教）

外部資金の獲得実績について

i. 公募、審査、採択の過程を経て獲得する競争的研究資金等

・ 2020年度 科学研究費助成事業 採択件数 13件 5,520千円

ii. 受託事業や共同研究に伴う研究経費等

・ 2020年度 受託事業 岡山県1件 その他1件 96千円

（総務企画課・産学官連携センター）

文部科学省補助金 平成31年度（令和元年度）私立大学等改革総合支援事業

副学長 大崎 紘一

1. 文部科学省私立等改革総合支援事業

平成 25（2013）年度から継続して本事業に申請をして採択され、教育、地域貢献、グローバル化の活動の改革を進めている。特に、教育に関しては、「タイプ1」で7年間継続して採択され、「教育の質の向上」、「教育の質の転換」と改革が進んでいる状態になっていると確信している。

本学は、教育、研究、地域貢献、グローバル化の4分野について活動ビジョンを定め、それに基づいて2019年度中長期計画を策定し、具体的な実施施策をKPIに定めて実施する体制ができています。中長期計画の施策を実施する中で、本事業のタイプの評価項目との関係を調整しながら採択になるよう取り組みを進め令和2（2020）年度も申請を行った。

(1) **タイプ1** 『Society5.0』の実現等に向けた 特色ある教育の展開 195 校程度

2020年度は「Society5.0」と新しい枠組みでの教育が求められ、評価項目の変更があったために本学の活動は70点となり申請をした結果、68点以上なので採択をされた。しかし、今後採択を継続するためには、評価項目への対応をする必要に迫られている。

(2) **タイプ2** 「特色ある高度な研究の展開」85 校程度

2019年度から開始された「特色ある高度な研究の展開」については、文部科学省私立大学研究ブランディング事業が無くなったことから、本学としては、教育、研究を基盤とした体制を確立する必要があるため、採択を目指して評価項目に取り組んでいるが、2点差で本年も採択には至らなかった。コロナ禍で、施設の共同利用の実績、テニユアトラック制度の施行ができていないことも得点が伸びない理由でもある。今後とも採択に向けて取り組みを進めていく。

(3) **タイプ4** 「社会実装の推進」130 校程度

社会貢献として、地域との連携活動を行っているが、共同研究、受託研究の研究費の獲得額が社会科学系の大学であるため少額であり、殆ど得点になっていない。他の評価項目についても達成ができず、合格点34点に対して17点と半分であるため、今後も厳しい状況が続くと考えられる。

2. 令和2年度補正予算（第1号）「大学等における遠隔授業の環境構築の加速による学修機会の確保」

申請事業名 「遠隔授業での質向上を確保するタブレット PC 整備事業」

コロナ禍で、本学の講義でも、オンライン授業を余儀なくされ、学生の教育環境としてのパソコンの必要性、家計の圧迫による学生の支援、大学構内でのWIFI環境の整備など、ICTに関する多様な対応を迫られた。

そこで本学では、パソコンを所有していない学生を支援するために、本補正予算に学生に貸与するタブレット PC 70 台の申請を行った。その結果採択され、タブレット PC の貸与規則を制定し、2021年度入学生も含めて募集し、応募者が多かったために貸与条件により貸与者を決定して、2021年4月以降に学生の使用を可能な状況にしている。

3. 令和2年度私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費（研究装置）及び私立大学等研究設備等整備費（研究設備・教育基盤設備）

申請事業名 「オンラインコミュニケーション教室」の整備

本学では、高度な PC を使用した教育をするための PC は本学で設置し、学生に使用させるという基本方針で整備を進めている。2019年度50台の core i5 のデスクトップ PC を整備し教育に供しているが、使用頻度が高く、対応できない授業が生じている。この状況を解消するために core i7 のデスクトップ PC を整備し、双方向オンライン会議システム（Zoom 等）を使用した同一教室内であるが双方向のスムーズな対話のできる ICT による高度な教育を実施することを目的として、デスクトップ PC 51 台（1 台は教員用）で構成する表記事業を申請し採択された。本システムは、ネットワーク環境を有線 LAN にすることにより、PC 間のコミュニケーション機能を最大限確保している。

2021年3月卒学生の就職活動を振り返って

就職・採用活動日程のルールが政府主導となった今年度の就職活動は、当初、昨年度と同様に「売り手市場」であると誰もが予測していました。しかし、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が大きな影響を及ぼし、学生たちは例年とは違う就職活動を強いられることとなりました。

新型コロナウイルス関連のニュースが日本で報道されるようになったのは昨年1月。そして感染は瞬く間に広がり、4月には緊急事態宣言が全国に発令され、本学もそれを受けて4月13日から学内への立ち入りが自粛となりました。5月末には緊急事態宣言が全面的に解除されましたが、現在でもこの感染拡大は続いています。本来であれば3月の就職活動解禁、6月の選考開始という流れが、感染拡大によって各企業の採用活動が一時ストップしてしまったのです。政府はこのような状況による就職氷河期の再来をなんとか回避するため、各関係団体に対してインターネットを活用した会社説明会や採用試験の実施、エントリーシートの提出期限の延長の配慮、採用選考活動の柔軟な日程の設定などを要請する異例の事態となりました。

3月から頻繁に開催される合同企業説明会が次々に延期や中止となり、学生と企業との出会いの場が失われてしまいました。この状況の中、各企業は採用スケジュールの大幅な変更やWEBツールの導入などの見直しが早急に求められ、感染予防対策のために採用活動が対面からオンラインに切り替わるという新しい取り組みが展開されました。就職情報サイトを運営する(株)ディスコ(キャリアスタリサーチ2021年卒採用マーケット分析)によると、今期からWEBセミナー(会社説明会)を実施した企業は70.3%に上り、WEB面接は4社に3社が導入し、学生のWEB面接等の受験率は8割と昨年の4倍へと劇的に伸びたとのことです。学生は慣れないWEB面接に「自分らしさを企業に伝えることができるのか」と不安を感じながらも、移動時間や交通費を節約できることや、緊張せずに自宅で面接を受けることができるというメリットを感じながら、このような「新しい就活様式」に順応しようと努力しました。

このことは当然ながら本学にも影響があり、5月末時点での就職内定率は40.3%と昨年同時期(43.2%)にほぼ近い数字であったものの、6月末56.5%(昨年70.6%)、7月末67.9%(昨年81.6%)、8月末72.9%(昨年87.4%)と6月以降の内定率の推移は、売り手市場の前段階である3~4年前の推移になってしまいました。採用枠の縮小や採用活動を中止する企業が幾つか見受けられ、昨年までは内定基準のボーダーラインと思われる学生も内定の獲得が目立っていましたが、今年についてはそれに該当する学生がこと

ごとく内定を獲得できなかったことが特徴として挙げられます。しかし、このような厳しい状況であっても早期から就職活動を行い、複数の企業から内定を得ている学生も多数いました。これについては企業の方も何とかして学生と接点を持つと、就職活動解禁前に実施したインターンシップの参加者にアプローチをかけ、感染予防に努めながら個別に選考を実施するなど積極的に動いたからです。

本学キャリアセンターの取り組みとしては、感染拡大の中で予防対策をしながら採用活動を実施している企業の情報を学生個々に提供することで、就職活動をなんとか継続できるように支援しました。また、WEBによる就職活動は時間や場所の制限がなく、より多くの企業と接触することができることから積極的に参加するように指導しました。キャリアセンターでの窓口対応や対面での個別面談は極端に減ってしまいましたが、その代わり頻繁に電話やメールで連絡したことで、昨年以上に学生個々との関係を深めることができた実感しています。このような地道な取り組みによって、1月末時点での就職内定率は96.7%と昨年同時期(97.5%)の内定率になんとか近づくことができました。

現在でも新型コロナウイルスの感染拡大は続いています。多くの企業は2022年3月卒学生に目を向け、業界研究のオンラインイベントへの参加やインターンシップを実施し、来年度の採用をスタートさせています。この感染がワクチンによって収束に向かえば、経済活動がある程度回復されると予測されますので、企業が新卒採用を大幅に縮小することはないと考えられています。しかし、先行き不透明な経済状況の中で、必要以上に多くの採用をしないということも予測できます。また、都市部の大手企業の採用枠縮小の影響によって地方へのUターン学生が増える傾向にあることから、地元企業の採用基準のハードルが少し上がっています。このことは既に本学の学生にも影響が出ており、県外学生が地元企業の採用試験を受ける割合が増えていると企業側から聞いています。

本学キャリアセンターとしては、今期はインターンシップ参加者が比較的有利だったことを踏まえ、2022年3月卒学生にはインターンシップなどの就活準備イベントへ積極的に参加するように指導しています。また、今後は就職活動のオンライン化が進み、コロナ収束後は対面とオンラインを併用したハイブリッド採用が主流になると考えられるので、オンライン就職活動に対する就職指導をガイダンスに取り入れていこうと考えています。

令和4年度からの新学習指導要領実施に向けたビジネス経済分野科目群の指導に向けて

岡山県高等学校商業教育協会
 ビジネス経済分野研究委員会 副委員長 梶原 由紀子

1. はじめに

高等学校では、令和4年度入学生より新学習指導要領が導入される。今回の学習指導要領の改訂では、育成すべき資質・能力として、学びを人生や社会に生かそうとする学びに向かう力・人間性等の涵養、生きて働く知識及び技術の習得、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成、の三つを柱として掲げている。これらは「何ができるようになるか」ということであり、このために新しい時代に必要となる資質能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標の見直しといった「何を学ぶか」、主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善といった「どのように学ぶか」ということでもある。

特にこの中の「何を学ぶか」について、高等学校の各教科・科目について改訂が行われ、商業においては右のとおりである。

令和3年度11月、岡山県において第47回中国五県高等学校商業教育研究大会が開催される。現在、当研究委員会ではそこの分科会発表に向け、新科目「ビジネス・マネジメント」に焦点をあて、研究を進めている。

2. マネジメントとは

現在、「ビジネス・マネジメント」については新学習指導要領に内容の構成と取扱に関する記載はあるが、教科書はまだできていない。そこで当研究委員会では「マネジメントとは何か」ということを考え、その読み解き、授業における他者との関わりにはどういったものが考えられるか、理論だけでなく実際の活動との関わりなどについて、現在、研究を進めている。

その中で、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を高校で養うにはという観点において、経営学やマネジメントを学んでいる大学ではどう取り組んでいるのか、その講義内容や実践事例等をリサーチする必要がでてきた。そこで、地元岡山において経営や経済、マネジメントといった分野に長く取り組まれている岡山商科大学にリサーチをすることとなった。

3. 岡山商科大学とのZoom会議

令和2年7月、当研究委員会から岡山商科大学へ大学訪問の依頼をおこなった。大学側からは快諾をいただいたが、新型コロナウイルス感染症が全国的にも拡大していたこともあり、訪問ではなくZoomを利用したオンライン会議の形で意見交換をさせていただくこととなった。

新旧科目対照表

改訂	改訂前	備考
ビジネス基礎	ビジネス基礎	
課題研究	課題研究	
総合実践	総合実践	
ビジネス・コミュニケーション	ビジネス実務	再構成
マーケティング	マーケティング	整理統合
	広告と販売促進	
商品開発と流通	商品開発	名称変更
観光ビジネス		新設
ビジネス・マネジメント	ビジネス経済応用	分業
グローバル経済	ビジネス経済	整理統合
ビジネス法規	経済活動と法	名称変更
簿記	簿記	
財務会計Ⅰ	財務会計Ⅰ	
財務会計Ⅱ	財務会計Ⅱ	
原価計算	原価計算	
管理会計	管理会計	
情報処理	情報処理	
ソフトウェア活用	ビジネス情報	名称変更
プログラミング	プログラミング	整理統合
ネットワーク活用	電子商取引	再構成
ネットワーク管理	ビジネス情報管理	分業

分野構成

分野	各分野の科目	分野共通の科目	
		基礎的科目	総合的科目
マーケティング分野	マーケティング 商品開発と流通 観光ビジネス	ビジネス基礎* ビジネス・コミュニケーション	課題研究* 総合実践
マネジメント分野	ビジネス・マネジメント グローバル経済 ビジネス法規		
会計分野	簿記 財務会計Ⅰ 財務会計Ⅱ 原価計算 管理会計		
ビジネス情報分野	情報処理 ソフトウェア活用 プログラミング ネットワーク活用 ネットワーク管理		

*は、商業に関する学科における原則履修科目を表す。

日時：令和2年8月17日（月）15：00～16：15

参加者：岡山商科大学 副学長	大崎 紘一 先生
同 経営学部准教授	横澤 幸宏 先生
同 非常勤講師	香川 俊樹 先生
当研究委員会 県立和気閑谷高等学校	安東 真美
同 県立岡山東商業高等学校	梶原由紀子

① 各先生より

当日は短い時間ながらも、各先生からご自身の経験や、現在岡山商科大学で取り組まれている内容について多岐にわたるご教授をいただくことができた。

非常勤講師 香川先生からはご自身の企業経営の経験をもとに、新科目「ビジネス・マネジメント」の指導項目として挙げられている内容について、岡山商科大学の後期からの講義の一つである「現代ビジネス事情」と共通する部分があることや、その講義内容についてお教えいただいた。

経営学部准教授 横澤先生からはご自身の専門である戦略論にもとづき、経営とは何か、「ビジネス・マネジメント」の指導項目について細かくご指導いただいた。そこでは、指導内容の幅の広さや事前準備の必要性をお教えいただき、これから取り組むべき内容についておぼろげながら方向が見えてきた次第である。

副学長 大崎先生からは岡山商科大学における「キャリア形成論」での分析手法についてご教授いただいた。また、「マネジメント」と「管理」は表裏一体であること、「マネジメント」についてはどこに焦点を当てるか、学校の特徴によって変わるのでは、とお教えいただいた。

② 高校で知識・素養として身に付けておいて欲しい内容

- ・現実に興味・関心を持つ
- ・問題に対して「どうクリアするか」という視点を持つ
- ・行動力

4. 今後に向けて

Zoom 会議をうけ、当研究委員会で報告したところ、更なる質問がでてきた。

◎実際に実施された「学生によるアンケート」とはどのようなものであったか

→ 「研究ブランディング成果報告書（2021年3月発行予定）」にまとめるとのこと。

◎集計結果の比較方法、結論について

→ 語彙分布、共起ネットワーク分析の利用

◎学生の意識変化

→ 意識変化は不明だが、教員側から見ると、多くの情報を得ることができた

◎「キャリア形成論」における EXCEL 分析手法について

→ 小野敏男先生のシラバスをいただく。また、ご本人にヒアリングしたい旨申し上げたところ、大学側から了解をいただけたので、今後、日程を調整し、ヒアリングさせていただく予定である。

5. おわりに

新学習指導要領における新科目については教科書もまだ完成しておらず、当研究委員会で調査研究を始めた当初は、何から始めればいいのか、雲をつかむような感じだった。今回、母校でもある岡山商科大学と Zoom 会議を行うことで、中国五県高等学校商業教育研究大会発表に向けて、その輪郭を明確にすることができたように感じている。また、高校での学びが大学での学びに深く繋がることを再確認することもできた。

今回、岡山商科大学とこのような機会をいただけたことに感謝申し上げると同時に、今後も当分野研究委員会との繋がりを深めていくことができると感じている。

教員免許状更新講習について

教員免許更新制は、「その時々で求められる教員として必要な資質能力が保持されるよう、定期的に最新の知識技能を身に付けることで、教員が自信と誇りを持って教壇に立ち、社会の尊敬と信頼を得ることを目指すもの」と位置づけられています。

本学の更新講習が、今後の教育や研究活動の一助となり、また、県内外の高等学校の先生方同士の交流の場となり得ることができれば幸いです。

令和3年度も「選択領域2講座」を開講予定です。詳細につきましては、本学ホームページ上でお知らせいたします。

募集要項の郵送も可能ですので、遠慮なく、お申し付けください。

多数のご参加をお待ちしております。

※教員免許更新制の詳細については文部科学省HPをご覧ください。

令和2年度	教員免許状更新講習	講師
8月22日(土)	「グローバル・バリュー・チェーンとアジアの新たな成長パターン/企業における情報システム開発(マネジメント(グローバル経済)・ビジネス情報)」	田中 勝次 大東 正虎
8月23日(日)	「マーケティングの変遷と進化/会計数値による「見える化」経営(マーケティング・会計)」	三好 宏 浜田 和樹

★令和3年度のご案内については、本学HP (<https://www.osu.ac.jp>) をご覧ください。

教員免許状を更新するには、各自の修了確認期限前の2年間に、大学などが開設する30時間(必修領域6時間、選択必修領域6時間、選択領域18時間)以上の免許状更新講習の課程を修了し、免許管理者に更新講習修了確認の申請を行うことが必要です。

生徒とともに成長した教育実習

経営学部経営学科4年

橋本 樹

(岡山県立倉敷商業高等学校出身)

私は、2020年9月7日から9月18日までの2週間、母校の岡山県立倉敷商業高等学校で教育実習をさせていただきました。

今年はコロナウイルスの影響で実習の受け入れが難しい中、6月の予定が9月に延期にはなりましたが、開始2週間前から体温測定など体調管理に気をつけながら無事実習を終えることができほっとしています。同時に私が在籍していた時がとても懐かしく感じました。雰囲気も変わらず、とても明るい学校です。

私の知っている先生方も年々少なくなっていますが、先生方は私のことを覚えてくださって、ご挨拶の折には「もうそんな時期か〜」「早いな〜」等々おっしゃって、喜んで受け入れてくださいました。

研究授業では、多くの先生方が参観に来てくださりかなり緊張しますが、今まで多くの先生方にご指導いただいたことをすべて出し切って頑張りました。しかし、研究授業の反省会ではたくさんのご指摘をいただきま

した。これからしっかり胸に刻んでいこうと思います。

最後のホームルームではクラスの生徒の皆さんから記念の色紙をいただきました。思い出が詰まった色紙です。

教職の道を目指して本当に良かったとつくづく感じています。



高校での教育実習風景(岡山県立倉敷商業高等学校)

時代の“潮流と深層”を読み解く。

慶應丸の内シティキャンパスの定例講演会

『夕学(せきがく)オンライン』開催

「夕学オンライン」は、慶應 MCC と株式会社ファシオとの共催事業として、夕学五十講の講演をインターネットでリアルタイム視聴できるサービスです。お手元の PC・スマートフォン等の各デバイスからお好きな場所にて受講ができ、後日 3 日間の見逃し配信もご利用いただけます。

- 開催時間：18：30～20：30
- 受講料：1講演 5,500 円(税込)
- 全講演：77,000 円(税込) ※後日 3 日間の見逃し配信付。

詳細や購入は「Deliveru」
<https://shop.deliveru.jp/keiomcc/>
 をご確認ください。



2021 年度前期「慶應 MCC 夕学オンライン」一覧 (全 21 回)

4月6日(火)

竹中 平蔵 慶應義塾大学名誉教授
 「ポストコロナ：日本の新しい課題」

4月8日(木)

夏野 剛 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特別招聘教授
 株式会社ドワンゴ 代表取締役社長
 「アフターコロナの企業経営」

4月13日(火)

石川 善樹 公益財団法人 Well-being for Planet Earth 代表理事
 「これからの日本と地球を考える視点：ウェルビーイング」

4月15日(木)

高岡 浩三 ケイアンドカンパニー株式会社 代表取締役
 「マーケティング思考とイノベーション」

4月20日(火)

田端 信太郎 田端大学 塾長
 「個人の時代」に向けた「学び」と「共助」の
 プラットフォームとしてのオンラインサロン」

4月21日(水)

中邑 賢龍 東京大学先端科学技術研究センター 教授
 「異才を活かし、イノベーションを創出する作法」

4月28日(水)

斎藤 幸平 大阪市立大学大学院経済学研究科 准教授
 「人新世の危機と SDGs というアヘン」

5月18日(火) ★見逃し配信対象外の講演

五木 寛之 作家
 「再・学問のすすめ」

5月21日(金)

篠田 真貴子 エール株式会社 取締役
 本間 浩輔 Zホールディングス株式会社 執行役員
 立教大学大学院経営学専攻リーダーシップ開発コース 客員教授
 法政大学大学院イノベーション・マネジメント研究科 兼任講師
 「キャリアの転機に向き合う ～聴くことで得たもの～」

5月27日(木)

延岡 健太郎 大阪大学大学院経済学研究科 教授
 「アート思考のものづくり～マツダ・魂動デザインと SEDA モデル～」

5月28日(金)

島田 由香 ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス株式会社
 取締役・人事総務本部長
 「新しい生き方・働き方」

6月1日(火)

田中 康平 筑波大学生命環境系 助教
 「恐竜研究最前線：恐竜の残した手がかりに私たちは何を見出すか」

6月4日(金)

小出 伸一 株式会社セールスフォース・ドットコム
 代表取締役会長 兼 社長
 「ステークホルダー資本主義に基づくセールスフォース・ドットコムの経営」

6月8日(火)

萱野 稔人 哲学者、津田大学教授
 財務省若手官僚有志
 「鼎談・ポストコロナ時代の日本社会を描く」

6月10日(木)

西川 悟平 7本指のピアニスト
 「7本指のピアニスト～20年間ニューヨークで勝ち残った生き方～」

6月16日(水)

蟹江 憲史 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 教授
 「SDGsを“道しるべ”に社会の再構築を」

6月29日(火)

山田 和樹 指揮者
 平野 昭 桐朋学園大学特任教授、静岡文化芸術大学名誉教授、音楽評論家
 「音楽を“指揮する”こと」

7月7日(水)

長谷川 真理子 総合研究大学院大学 学長
 「認知の進化と感情の進化：認知が万能ではない」

7月9日(金)

大木 毅 現代史家
 「知られざる惨禍 独ソ戦とロシアの歴史認識」

7月13日(火) ★見逃し配信対象外の講演

山川 恭弘 バブソン大学准教授
 「未来を創造する起業家的思考と行動法則」

7月20日(火) ★見逃し配信対象外の講演

鴻上 尚史 作家・演出家
 「同調圧力とエンパシー」

2020年度 前期 オンライン配信

※コロナ禍により、サテライト配信は中止。夕学オンラインを広報協力。

7月9日(木)

高階 秀爾 大原美術館 館長

石川 善樹 予防医学研究者

「『美しい』とは何か」

※本講演は石川氏の講演30分・高階氏の講演30分・質疑応答を含む対談60分の構成です。

7月16日(木)

仲野 徹 大阪大学医学部 教授

「(あまり)病気をしない暮らし」

7月29日(水)

高橋 俊介 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任教授

「経営人材が今学ばべきリベラルアーツ」

8月4日(火)

田村 淳 ロンドンブーツ1号2号

「ボクが慶應大学院で学ぶ理由」

※トークショー形式の講演60分、質疑応答30分の構成で、20時終了です。

8月6日(木)

松尾 睦 北海道大学大学院経済学研究科 教授

「部下の強みを引き出す経験学習リーダーシップ」

2020年度 後期 オンライン配信

※コロナ禍により、サテライト配信は中止。夕学オンラインを広報協力。

10月8日(木)

高橋 孝雄 慶應義塾大学医学部小児科学教室 教授

「子どもを育む遺伝の力、環境の力」

10月16日(金)

井上 達彦 早稲田大学商学学術院 教授

「ゼロからつくるビジネスモデル～with/afterコロナにおけるリフレームの手法～」

10月20日(火)

秋元 雄史 東京藝術大学大学美術館 館長/教授、練馬区立美術館 館長

「アートとビジネスの交差点から世界を考える」

11月5日(木)

北野 唯我 著述家、ワンキャリア取締役

「これからの生き残り方～組織と個人～」

11月9日(月)

池上 彰 ジャーナリスト

「世界の読み方2021」

11月17日(火)

徳井 直生 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 准教授
株式会社Qosmo 代表取締役
Head of Technology - Dentsu Craft Tokyo

「AIx人間の新たな創造性」

11月27日(金)

さーたり 外科医、漫画家

「『選ばない』を選んで生きる」

12月4日(金)

岡本 隆司 京都府立大学 教授

「歴史から読み解く現代中国」

12月8日(火)

内田 和成 早稲田大学ビジネススクール 教授

「右脳思考一観・感・勤のススメー」

12月15日(火)

安永 雄玄 浄土真宗本願寺派築地本願寺 代表役員宗務長

「築地本願寺の経営改革～ビジネスマン出身僧侶のお寺改革～」

1月13日(水)

海部 陽介 東京大学総合研究博物館 教授

「海を越えた最初の日本列島人～実験航海で探る3万年前の挑戦～」

1月19日(火)

福原 正大 Institution for a Global Society株式会社 (IGS) 代表取締役社長

「55万人の評価データから分かった、評価改革の落とし穴」

1月26日(火)

齋藤 卓爾 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 准教授

「経営視点で捉えるファイナンス」

2月1日(月)

富山 和彦 株式会社経営共創基盤 代表取締役CEO

「コロナショックとコーポレート・トランスフォーメーション」

2月9日(火)

佐藤 優 作家・元外務省主任分析官

「コロナ禍と米国大統領戦後の世界の読み方」

商大講座のご案内

～出前講義：

講師がお近くまで伺います！～

岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601
岡山市北区津島京町 2-10-1
TEL/FAX 086-256-6656 (直通)
TEL 086-252-0642 (代表)
E-mail syaken@po.osu.ac.jp

お申し込みができるのは？

30名程度の聴講者が見込める、岡山県内の公共・一般団体や企業です。

講座のプログラムは？

次ページをご参照ください。

1講座は1時間から2時間（質疑応答を含む）の構成になっております。プログラムに掲載のないテーマにも対応させていただきますのでご相談ください。

費用は？

講師料は無料です。ただし、会場の手配・設営および案内発送に係わる事務作業や費用は申込者にてお願いします。（※受講者から料金を徴収されている場合は、講師料が発生します。講師料は応相談。）

申込手続きは？

お電話、FAX、Eメールで上記までお問い合わせください。

開講にあたっての注意

教員の都合等により、必ずしもご希望に添えないことがあります。

2020年度実績

開催日	講座内容	講師
随時	商大講座 特別編 ～健康な心とからだづくりをめざして～ 「リフレッシュダンス教室」	青山 敦子 (社会総合研究所客員教授) 小野 陽美 (非常勤講師)
随時	商大講座 特別編 「脳トレダンス DVD 教室」	青山 敦子 (社会総合研究所客員教授)
7/27 (月)	赤磐市立山陽公民館	
8/ 3 (月)	健康講座	青山 敦子
8/17 (月)	「コロナ禍に負けない体を！」	(社会総合研究所客員教授)
8/31 (月)	～体力アップ・免疫力アップ～	
11/ 9 (月)		
11/16 (月)		
12/ 7 (月)	商大講座 特別編	青山 敦子
2/15 (月)	～健康な心とからだづくりをめざして～	(社会総合研究所客員教授)
2/22 (月)	「リフレッシュダンス教室」	小野 陽美
3/ 8 (月)		(非常勤講師)
3/15 (月)		
11/13 (金)	おかやま信用金庫 「つながる産学金」	三好 宏 (経営学部 教授)

2020年度「商大講座」メニュー一覧

	テーマ	所属学部等	講師氏名	担当講義・専門分野
注目イベント	リフレッシュダンス教室 ～健康な心とからだづくりをめざして～	非常勤客員教授	青山 敦子	元 高校保健体育教師
		非常勤講師	小野 陽美	体育/ダンス指導
	発想法ワークショップ (はっ! そう?! ほ～。ワークショップ)	商学科教授	三好 宏	マーケティング入門 地域マーケティング
教養	道徳的ジレンマへの挑戦 ～行為の優先順位が、その記述に左右されること～	法学科教授	九鬼 一人	哲学/倫理学/論理学
	戦後ドイツにおける「過去の克服」	商学科准教授	香月 恵里	ドイツ語/ドイツ文学
	・シェイクスピアと言葉 ・シェイクスピア劇におけるよりよい生き方	商学科教授	松浦 芙佐子	英語学 英文学
	吉備の古代史入門	商学科特任教授	福本 明	博物館学芸員課程/考古学
法学	生命倫理と法	法学科教授	栗屋 剛	医療と法
	消費生活と契約	法学科講師	倉持 弘	民法
	・刑事司法の現状と課題 (裁判員制度、日本型司法取引、少年法など) ・現在の犯罪・非行の情勢について	法学科准教授	白井 諭	刑事訴訟法 刑事政策
	国際裁判による紛争の平和的解決	法学科准教授	砂川 和泉	国際法
	相続法改正について	法学科教授	吉岡 伸一	民法
経済学	中国経済の構造転換	経済学科教授	田中 勝次	国際金融論
経済学・商学	備前醤油の歴史	商学科教授	天野 雅敏	日本経済史/商業史
	中国企業の現状と課題	経営学科准教授	于 琳	国際経営論/経営管理論
	・大学との連携について、高大連携について ・サービス系主として事務作業の生産性向上 ・製造業における生産性について	経営学科教授	大崎 紘一	経営工学
	・金融リテラシー概説 ・相続と住宅管理 ・空き家対策	商学科教授	海宝 賢一郎	ファイナンシャルプランニング 不動産管理論
	・電子商取引の現在 ・電子マネーの現在	商学科教授	蒲 和重	流通システム論 FP 概論
	日本のスタートアップ企業	経営学科講師	川合 一央	経営史
	・教育工学とICTの利用 ・科学・ものづくり教育	経営学科教授	小松原 実	情報技術論 マルチメディア表現・技術
	・企業と情報 ・インターネットと地域社会	経営学科教授	大東 正虎	経営情報 情報管理
	・充実したライフデザインと キャリアプランシナリオの描き方 ・ファイナンシャルプランニングの基礎知識 財産戦略	商学科教授	高林 宏一	ファイナンシャルプランニング
	おかやま地域の産業・商業振興	商学科教授	田中 潔	マーケティング/社会調査
	金融資産運用の基礎知識	商学科教授	鳴滝 善計	証券市場論 ポートフォリオ・マネジメント
	戦略経営と管理会計： 財務・非財務指標による管理	経営学科教授	浜田 和樹	管理会計
	・食品衛生リスク学創設の必要性 ～フグ取扱法制度疲労と CODEX ・なぜ商店街はシャッター通り化するのか ～地域交通行政政策の要再検討	経営学科教授	古川 澄明	経営学
	・サービスの提供は人としての成長 ・マーケティングの魅力と危険性	商学科教授	松井 温文	流通マーケティング サービス・マーケティング
	AI とビジネス	経営学科教授	松尾 博文	オペレーション管理 生産マネジメント
	・発想法ワークショップ ・観光・まちづくりのマーケティング	商学科教授	三好 宏	マーケティング入門 地域マーケティング
	情報化社会における脅威と身の守り方	経営学科准教授	箕輪 弘嗣	メディア情報学/情報ネットワーク論
なぜ間違えるのか？ 観光サインの多言語表記を考える	商学科教授 // 准教授 // 講師	松浦 芙佐子 黎 暁妮 徐 允廷	英語学・英文学 日本語教育学 観光学	

著書紹介

直前対策シリーズ

『速攻! QC 検定 2 級』、『速攻! QC 検定 3 級』

細谷克也 [編著] 稲葉太一 竹士伊知郎 西 敏明 吉田 節 和田法明 [著]
株式会社日科技連出版社 (2020 年)

経営学部 経営学科 教授 西 敏明

厳しい経営環境の中、企業は品質を経営の中核として品質経営を実践し、お客様の視点に立った魅力的な製品・サービスを提供して行かなければならない。ここで、重要な役割を担ってくるのが品質管理である。

“品質管理検定” (QC 検定と呼ばれる) は、日本の品質管理の様々な組織・地域への普及、ならびに品質管理そのものの向上・発展に資することを目的に創設された。2005 年 12 月に始められ、全国で年 2 回 (3 月と 9 月) の試験が実施されており、品質管理検定センターの資料によると 2019 年 9 月の第 28 回検定試験で、総申込者数が 1,206,895 人、総合格者数が 584,214 人となった。

QC 検定は、組織で働く人に求められる品質管理の能力を 1 級・準 1 級から 4 級まで 4 つの級に分類し、各レベルの能力を発揮するために必要な品質管理の知識を筆記試験により客観的に評価するものである。

受検生から「受検の申込みをして、意気込んでいざ勉強しようとする、あと 3 カ月もあるとなかなか机に向かえない。1 カ月で効率的に集中して勉強できる本がほしい」との強い要望が出された。この声に応えるために受検直前に短期間で学べるテキストとして、本「直前対策シリーズ」を刊行することとした。

本シリーズの特長として、次の 7 つが挙げられる。

- ① 1 カ月間集中的に学ぶことにより、速効・速戦的に“合格力”が身に付く。
- ② 2 色刷りで赤シートが付いており、重要項目を集中して効果的・効率的に習得できる。
- ③ 重要なこと、間違いやすいことを簡潔に説明している。
- ④ 過去問をよく研究して執筆しているので、ポイントやキーワードがしっかり理解できる。
- ⑤ QC 検定レベル表に記載されている用語は、JIS や日本品質管理学会の定義などを引用し、正確に解説している。
- ⑥ 苦手とする QC 手法については、紙数を割いて、具体的にわかりやすく解説している。
- ⑦ QC 手法は、定義や公式を示し、できるだけ例題で解くようにし、理解しやすい。

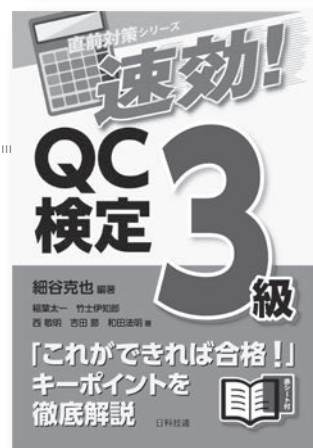
なお、本書は、2019 年 11 月 22 日に新たに公表されたレベル表 (Ver.20150130.2) に対応している。

「速攻! QC 検定 3 級」は、3 級の受検者を対象にしたテキストである。3 級を目指す人々に求められる知識と能力は、QC 七つ道具については、作り方・使い方をほぼ理解しており、改善の進め方の支援・指導を受ければ、職場において発生する問題を QC 的問題解決法により解決していくことができ、品質管理の実践についても、知識としては理解しているレベルである。これは、基本的な管理・改善活動を必要に応じて支援を受けながら実施できるレベルである。

「速攻! QC 検定 2 級」は、2 級の受検者を対象にしたテキストである。2 級を目指す人々に求められる知識と能力は、一般的な職場で発生する品質に関係した問題の多くを QC 七つ道具および新 QC 七つ道具を含む統計的な手法も活用して、自らが中心となって解決や改善をしていくことができ、品質管理の実践についても、十分理解し、適切な活動ができるレベルである。これは、基本的な管理・改善活動を自立的に実施できるレベルである。

本書が多くの 3 級、2 級の合格者の輩出に役立つとともに、企業における人材育成、日本のもの・サービスづくりの強化と日本の国際競争力の向上に結びつくことを期待している。

なお、この本文は、各書の「はじめに」より引用し、一部改変している。



2020 年度孔子学院活動報告

岡山商科大学孔子学院は、2007年に創立して以来、中国語教育及び中国文化の正しい理解とその普及に努力を積み重ねてまいりました。

2020年度は下記の通り、事業を展開しました。

1. 中国語教育

今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で、孔子学院の中国語講座は例年より開始が遅くなり、5月11日からオンライン形式で始まりました。その後、全国の感染状況の改善により、6月1日から本来の対面授業に戻りました。中国語講座は昨年度と同じく入門、初級、中級、上級と上級会話、個人レッスン、子供向けコースなどに分けており、それぞれ昼と夜のコースを設けています。倉敷の教室はコロナ禍の影響で、今年度は中止しています。岡山県立津山商業高校の遠隔教育コースを含めて、年間32クラスを設けました。社会人向けクラスは前期コロナ禍の影響で延期し、授業回数は3回少なく15回となりました。後期は通常通り18回実施し、年間合計33回でした（遠隔教育は年に10回、学部生は年間合計30回）。

2. 文化イベント

今年はコロナ禍により、孔子学院の対面活動の実施がなかなか難しく、全部で8回のイベントを行いました。中国語朗読大会、文化講座、岡山商科大学附属高校留学生との交流会など、およそ610人に参加していただきました。

特に初めて Zoom による中国語教育研究会を開催しました。テーマは「日中ビジネスコミュニケーションの課題と対策」で、広島大学の盧濤教授を招き、日中ビジネス活動の歴史と現状を踏まえ、今後の日中ビジネス交流実践の可能性について述べていただきました。

同じくコロナ禍により、大連外国語大学の提携により行う予定の日本人学生のサマーキャンプと中国伝統民族楽器鑑賞会については、今年は中止になりました。その代わりに、孔子学院の受講生が大連外国語大学主催の民族音楽会をオンラインで鑑賞しました。

3. 中国語ラジオ講座と遠隔講座

特色あるプロジェクトとして、地域のラジオ放送局 RSK で開催する岡山商科大学中国語講座はすでに13年目に入りました。今年の話題は「案内サインで中国語を覚えよう」です。ワンフレーズ、ワンワードの中国語ラジオ講座が中国語を学ぶ方々に好評です。もう一つ、RadioMOMO で開催するラジオ講座は主に中国文化を紹介する内容で、ネットでの放送もあることから、より多くの聴取者に中国文化に触れ、今の中国を知っ

てもらえるきっかけを作ることができました。2局で行うラジオ講座は合計毎年76回行い、聴取者の範囲は百万人以上に及びます。

その他、今年も継続して津山市にある岡山県立津山商業高校と共に、オンラインでの遠隔講座を行いました。

4. 地域への貢献

地域への貢献は孔子学院の重要な仕事の一つです。中国語を広めると同時に、地域の市民の需要を調べ、多角的に地域へのサービスを提供し、中国文化を広めるイベントをしています。

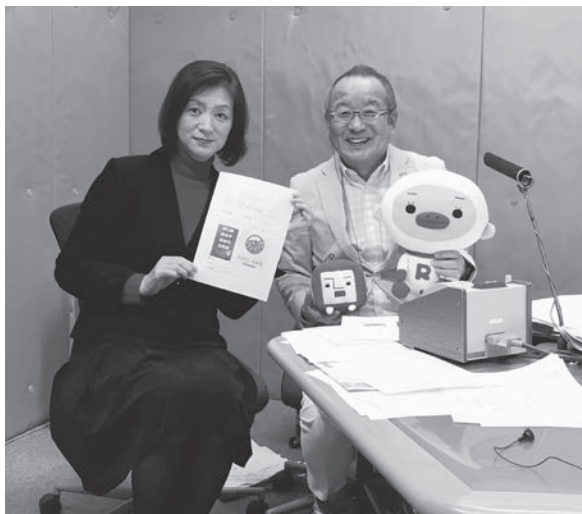
コロナ感染症が発生して以来、地域でのイベントはほぼ中止になりましたが、岡山商科大学孔子学院はできる限りの努力をしてきました。中国駐大阪総領事館からの中国人留学生への「健康支援小包」を配布する仕事を担当し、同時に、中国武漢にも募金することを呼びかけ、日中友好協会を通して、中国大使館に寄付しました。

5. 孔子学院の所属変更

今年、孔子学院を共同で経営する中国側の大学、中国一部の教育文化事業を展開する企業、民間団体などは「中国国際中文教育基金会」を設立しました。孔子学院の所属はこれから「中国国際中文教育基金会」に移行することになります。所属変更の手続きが終了後、今までの孔子学院本部機能は「中国国際中文教育基金会」へ移り、継続して世界中の孔子学院（孔子学堂も含め）を支援し、サービスを提供していくこととなります。中には孔子学院の発展ビジョンの企画、孔子学院のブランドスタンダードと運営規範の制定、孔子学院新設の授権、孔子学院の運営評価といったものが含まれています。岡山商科大学孔子学院はすでに所属変更の手続きを終え、「中国国際中文教育基金会」から孔子学院のブランド、名称と標識の使用を許可する授権書を取得しました。



春節交流会



RSK ラジオ講座



レディオモラジオ講座



オンライン理事会



中国語朗読大会



中国大使館への募金寄付



岡山商科大学附属高校留学生との交流会

2020年度の商大塾を振り返り

社会総合研究所 次長
経営学部経営学科 准教授

吉良 友人

資格取得支援を行っている「商大塾」を通じて、各種資格の合格に向けた学内試験対策講座や学外講座（商大塾の推奨講座）を受講することによって、税理士や宅地建物取引士をはじめとした国家資格の合格者も少数ながら安定的に排出されるようになってきました。

◆ビジネス実務に関連した難関資格は好成績

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年度は資格試験が中止となったものもあり、例年よりも資格試験の合格者数は減少しました。しかしながら、難関資格については良い結果となりました。税理士試験では、在学生から簿記論2名、財務諸表論1名（簿記論と同じ学生）の合格者が、既卒生からは1名5科目合格者ができました。また、宅地建物取引士も3名合格者がでており、コロナ禍においても学生が頑張っており、ことに感謝しております。

商大塾では学生との面談を行い、個々人のレベルに合わせて早い段階から目標を達成するためのプランを提案することで、今後も学生の資格取得を支援していきます。

◆ダブルスクールで国家資格合格を目指す

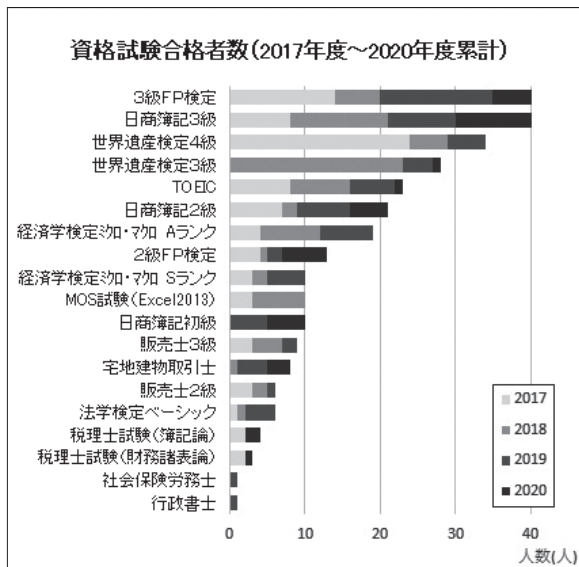
国家資格については、提携先の学外講座（資格の専門学校での通学講座）を受講するダブルスクールによる学習が定着してきており、税理士講座などの会計系の資格講座をはじめ、宅地建物取引士など不動産実務に直結する資格については、学外講座を積極的に受講して合格に結びつけています。

商大塾では、提携先の受験指導校の受験料割引制度や資格試験合格者に対する報奨金制度などにより学習支援を行っており、学生も上手に活用してくれています。

ちょっと振り返り ～過去からの合格実績～

2級FP技能士	64名	(2008年度～2020年度の累計)
3級FP技能士	227名	(")
AFP認定者	43名	(2010年度～2020年度の累計)
日商簿記2級	43名	(2011年度～2020年度の累計)
日商簿記3級	88名	(")
販売士2級	17名	(2012年度～2020年度の累計)
販売士3級	26名	(")

※ AFP認定者は日本FP協会への登録完了者数



※ TOEICについては500点以上の得点者数

個別指導の整備

実務経験が問われるようになってきた日商簿記検定試験について、受検対策の一環として個別指導を強化する体制を整えました。個別面談や必要に応じてミニテスト等を行い、学生個々の知識レベルを適切に把握したうえで、受検する「級」の選定をはじめ、学習する教材の選定等について細やかに指導することで、学生が自己の能力に合わせた「級」を確実に取得できるように指導するようにしています。

本学は、実践的能力の取得や社会人としての教養を身につけ、早期から社会人となるための意識を高めるよう学生を指導しています。

そうした中で、国家資格や検定試験へのチャレンジを学生に促し、積極的に受験できるよう外部の資格の学校ならびに各協力企業と連携して、資格試験講座・通信教育講座等を実施しています。

また、国家資格試験等に合格した場合、報奨金を支給する「岡山商科大学資格取得支援制度」を設けています。本年度も多数の皆さんが、国家資格試験・公務員試験・検定試験に合格されました。

公務員試験合格者 (2020年度)		
国家公務員	刑務官	3名
	自衛官 (一般曹候補生)	2名
地方公務員	丸亀市役所	1名
	警察官	14名
	(岡山県 10 / 大阪府 1 / 広島県 2 / 宮崎県 1)	
	枚方寝屋川消防組合	1名

資格試験合格者 (2020年度)		
税理士試験 (簿記論)		2名
// (財務諸表論)		1名
宅地建物取引士		3名
FP技能検定	2級	6名
	3級	14名
日商簿記検定	2級	5名
	3級	15名
	初級	5名
経済学検定 (ミクロ・マクロ) 2科目	A+ランク	1名
TOEIC (500点以上)		1名
日本語能力試験	N1	9名
	N2	6名
	N3	1名
基本情報技術者試験		1名
ITパスポート試験		1名
世界遺産検定	2級	1名
	3級	1名

(注) 岡山商科大学資格取得支援制度の詳細については社会総合研究所までお問い合わせください。

資格試験講座一覧

日商簿記検定 (初級) 講座
日商簿記検定 (3級) 講座
宅地建物取引士講座 (通学・e-ラーニング)
MOS 対策講座 (Excel)
日本語能力試験対策講座 (e-ラーニング)
WEB 資格講座 (提供: 株式会社 E-prost)

各教員による勉強会

リテールマーケティング (販売士) 検定勉強会
FP 技能検定勉強会

丸亀市役所 合格

法学部法学科 4年
石川 海渡

私は、大学入学前から地元である香川県で人の役に立つ仕事がしたいという思いから香川県で公務員になりたいと考えていました。そこで、大学に進学してからは公務員一本に狙いを定め、目標を成し遂げるために公務員コースを選択し、試験に必要な講義を履修してきました。2、3年時には大学内で開催される外部の資格の学校と提携した公務員講座に参加し、勉学に励んできました。そこでは、講師の先生による出題予想や傾向を中心に講義が行われ、合格に近づくことを意識した効率の良い勉強方法のおかげで、忙しい大学生活の中、週2回という講義数にも関わらず、市役所に合格することができました。また、公務員講座では学部学科問わず同じ目標に向かって勉学に励む学生がいます。そういった同じ目標を持った人達と学ぶことで教え合ったり、競い合ったりすることで、有意義な時間を過ごすことができたと思います。

このように私は大学によるサポートを受けることで充実した学生生活を送ることができました。私は、射撃部に所属し学業だけではなく部活動にも力を入れ文武両道を目指してきていたのですが、部活動においても公務員試験に挑戦することを応援していただきました。例えば、勉強時間で潰れてしまった練習時間を個別に確保していただいたり、副部長でありながら自分の仕事をチームメイトにカバーしてもらったこともありました。こういった学業以外のところでも自分の夢に対して温かくサポートしてくださった射撃部に感謝しています。

岡山商科大学では、学業での支援だけでなく、それ以外においても温かい環境があったことで充実した4年間を過ごすことができたと感じています。

公務員試験に挑戦するという事は長い時間をかけて努力しなければなりませんし、辛いこともたくさんあります。ですが、努力した分だけ結果に表れるのが公務員試験だと思えます。これから挑戦する人は強い意志を持ってあきらめずに頑張ってください。

合格者の声



税理士試験 2 科目合格

経営学部経営学科 3 年
堀 千咲

数年前、大学への進学を考えていたときに私は一つの目標を定めました。それが税理士になる、ということでした。なぜ税理士なのかという理由はいくつかありましたが、その理由よりも税理士になるために大学にまで入学したのだという事実が、私から諦めるという選択肢を奪ったように思います。「諦めれば合格が確実に1年伸びる」「卒業後は時間がなくなり合格率はもっと下がる」と、こんなことをよく考えていました。

試験勉強を始めた2年生の8月から試験のある3年の8月までの1年間ほど、常に頑張れたかという、もちろんそんなことはありません。むしろやる気のある時なんて全体の1割ほどだったのではないかと今振り返ってみて思います。それでも合格することができたのは、諦めるという考えが全くなかったために、やる気がなくても勉強を続けていたことが大きかったのだと考えています。

勉強をするとき、私は常にスケジュール帳で勉強の計画を立てて、その進行具合を可視化していました。大まかな計画は専門学校のカリキュラムの流れに沿って行い、週の



初めに1週間に講義を何本こなす必要があるか、復習はどれくらい必要か等を決め、毎朝その予定をデイリー欄にさらに細かく書き写し、終わったものにチェックを入れてきました。そして、予定通り進まなかったものは翌日以降、あるいは翌週で調節するようにしていました。また、計画の他に勉強時間も記録し続けていました。

私は税理士になるために既にコストを支払っていることを意識し、諦めることなく勉強を続けたこと、計画を立てて常に見直しを行ったこと、目に見える形に残したことで、これが試験勉強を長期間必要とする試験を乗り越えるために役に立ったのだと感じています。

税理士になるためには5科目合格がそろわなければなりません。今回、税理士試験の簿記論、財務諸表論に合格できたことは、まだ目標へのスタートにしか過ぎないので、今後も努力を続けていきます。

末筆にはなりますが、合格のためにご助力くださった皆様に心から感謝申し上げます。



税理士試験 1 科目合格

経営学部経営学科 4 年
市場 勇希

私は入学当初から税理士を目指していた訳ではありません。簿記に触れたのも大学に入学してからです。

私が税理士を目指すきっかけとなったのは、本校の講義内にある「税理士による租税講座」を受講したのがきっかけです。これは中国税理士協会ご協力のもと税理士や国税専門官の方などが大学に来て講義をしてくださるというものでした。その中で、税理士は人から必要とされる、頼られる仕事だと感じ税理士を目指すことに決めました。

税理士試験は、難関と言われている試験です。最初は少し躊躇いましたが、私は今までの自分をどうしても変えたくて挑むことに決め、まずは一つずつ行こうと思い、4年生の8月の試験に向け、3年生の9月から簿記論だけの勉強を進めました。

税理士試験の中でも簿記論と財務諸表論は特に相当な勉強量が要ります。専門学校にも通いながら、帰ってから復習をするなど、なるべく時間をかけて丁寧に解くように心掛けました。

この税理士試験対策をしていく中で重要だと思ったことは2つあります。

1つ目は、とにかく基礎を固める事です。税理士試験は時間との勝負です。特に簿記論はいかに取捨選択をし、部



分点を取れるかが重要になってきます。すると基礎力が重要になってきます。土台さえできていれば、本番で見たことも聞いたこともないような問題を前にしても対応できるからです。そのため、私は基礎力をつけることに時間を費やしました。

2つ目はとにかく諦めないことです。税理士試験目になると、試験対策問題なども徐々に難しくなってきます。試験2ヶ月前の模試で30点台を出すなど、自信をなくすこともありました。しかし、決して諦めませんでした。税理士試験勉強をする前に先生に言われた言葉があったからです。「税理士試験は努力すれば必ず受かる」。私はこの言葉を信じて、ひたすらに勉強した結果、合格を勝ち取ることができました。辛い時諦めなくて本当に良かったです。

これからは仕事と勉強を両立しなければならないため、さらに厳しさが増してくるかもしれません。しかし、私は諦めません。税理士試験を通じて、諦めないことの大切さを知ったからです。大学生は自由な時間がある最後のチャンスだと思います。ぜひ、いろんなことにチャレンジして自分なりにいかにかを見つけてみてください。

後援会及び後援会役員会について

社会総合研究所では、後援会を組織しています。県内外を問わず多くの個人・団体の方にご登録をいただき、会員の皆様には、各種公開事業にご参加いただくと共に、刊行資料の配布をしています。そうした活動を通じて、寄せられたご意見、ご感想は社会的な要請とも受け止め、展開する事業へ反映させています。

そうした私共を支えていただいている後援会会員の中から一部の方に、中長期的かつ戦略的なご意見をいただくために、役員としてご就任いただいています。毎年ご意見をいただく場として「後援会理事・幹事合同役員会」を対面にて開催しておりますが、2020年度はコロナ禍により書面での開催といたしました。

産業界などで活躍されている方々からのご意見は多くのご示唆を含んでおり、これからの活動指針を定めていく上で、大変貴重な道標を示していただきました。

今後も、こうしたご意見を無駄にすることなく、地域発展のため鋭意取り組んでいきたいと思っております。

岡山商科大学社会総合研究所後援会役員名簿 (2021年2月) (敬称略)

代表理事	岡崎	彬	岡山ガス株式会社	代表取締役会長
理事	宮長	雅人	株式会社中国銀行	取締役会長
理事	桑田	茂	RSK山陽放送株式会社	代表取締役社長
理事	小嶋	光信	両備ホールディングス株式会社	代表取締役会長兼 CEO
理事	秋山	進彦	倉敷化工株式会社	相談役
理事	江國	成基	株式会社天満屋	代表取締役社長
幹事	服部	弘平	服部興業株式会社	代表取締役会長
幹事	木谷	忠義	株式会社さえら	代表取締役会長
幹事	近藤	弦之介	太陽綜合法律事務所	代表弁護士
幹事	永山	久人	下津井電鉄株式会社	代表取締役社長



2020年2月4日 於：岡山プラザホテル

所長挨拶

2020 年度活動経緯

社会総合研究所 所長 海宝 賢一郎



2020年度はコロナ禍により、感染拡大防止のため授業はオンライン形式になり、フィールドスタディ等の地域と連携した活動は全面的に中止となる厳しい1年となりました。

まず、慶應MCC主催の夕学講座が前期は中止となり、後期もサテライト会場での実施が困難という判断のもと、個別配信（オンライン）という形式に切り替えて開催されました。次年度も個別配信での開催となる予定ですが、本学としてはサテライト会場での開催の復活を望んでおります。

フィールドスタディについては、ほとんどが中止となる中、「日生カキオコまちづくりの会」から委託された動画制作が感染拡大により中断を余儀なくされながらも何とか完成に至りました。2021年度は、リモート・フィールドスタディなどの新しい試みも必要になるでしょう。

資格については、受検者が多いFP技能検定試験や日商簿記検定試験が、2020年度前半は中止となり、受検の準備をしていた学生にとっては気の毒な事態となりましたが、秋の試験が実施できたことで学生は救われました。このような状況でしたので、合格者数は例年と比較して少なめになっておりますが、国家資格において税理士科目合格者が2名（うち1名は2科目合格）、宅地建物取引士合格者が3名と、コロナ禍においても通信講座（e-ラーニング）等を上手く活用して頑張った結果が合格に結びついたことは嬉しい限りです。

毎年秋に開催している公開講演会も、2021年1月になってしまいました。Zoomによるオンライン・Liveという新しい試みで「IR公開講演会」を実施することができ、当研究所客員教授の近藤一仁による「IRの新潮流 ～ESG投資について～」、地元岡山で創業100年の伝統があるオルバヘルスケアホールディングス（旧カワニシホールディングス）代表取締役社長の前島洋平氏から「社名変更と企業理念共有」というテーマでご講演いただきました。ご協力いただきました関係者の方々、ご参加いただきました一般の皆様へ感謝申し上げます。

当研究所後援会の役員会につきましても、新型コロナウイルス感染防止の観点から、書面による開催とさせていただきます。日頃よりご協力いただいております代表理事の岡崎彬様をはじめ、理事、幹事の皆様にはこの場をお借りして御礼申し上げます。

岡山商科大学社会総合研究所後援会について

趣 旨

社会総合研究所は、地域社会の発展に寄与することを目的に設立された岡山商科大学の附属機関です。

事 業

社会総合研究所は「研究」、「資料収集」、「学生学習支援」の他に、対外的な4つの事業を遂行しています。

- 公開講演会・「慶應MCC夕学講座」サテライト講座・商大講座・通信教育講座
- 大学公開事業の開催
- 岡山商科大学学園誌『商大レビュー』の発行
- 地域社会の当研究所に対するニーズの把握

後援会組織

社会総合研究所設立趣旨の徹底を図るために後援会が設けられています。現在の後援会役員は次の通りです。

- 理事 岡崎彬（代表）、宮長雅人、桑田茂、小嶋光信、秋山進彦、江國成基
- 幹事 服部弘平、木谷忠義、近藤弦之介、永山久人（敬称略）

会 費

無料です。

会員の特典

会員は、下記の特典が受けられます。

1. 『商大レビュー』等の希望者無料配布
2. 「岡山商科大学公開講演会」、「商大講座」や「慶應MCC夕学講座」等、大学公開活動の開催についてのご案内

お問い合わせ

岡山商科大学社会総合研究所
〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1 電話& FAX : 086-256-6656
URL : <https://www.osu.ac.jp/society/organization/>

附属経営研究所・社会総合研究所 1972（昭和47）年創設以降の活動経緯

1. 主な活動

附属経営研究所	1972（昭和47）年～1998（平成10）年（井尻裕 前学長）	
研究所報	1976（昭和51）年～2006（平成18）年 以降 休刊	
後援会役員会	1989（平成元）年～現在に至る	
商大レポート	1990（平成2）年～1992（平成4）年	
商大レビュー	1993（平成5）年 創刊 現在に至る	
岡山の起業家精神	1993（平成5）年 発刊 山陽新聞社	
社会総合研究所	1999（平成11）年～現在に至る（井尻昭夫 学長）	
オフキャンパスセミナー （現商大講座）	1999（平成11）年～現在に至る	
夕学講座	2003（平成15）年後期～現在に至る	
商大塾	2012（平成24）年～現在に至る	
客員教授	2017（平成29）年4月 近藤一仁氏、2018（平成30）年5月 青山敦子氏	
特別研究員	2020（令和2）年4月 馬場勉氏、2021（令和3）年4月 小野陽美氏	
文部科学省 私立大学研究ブランディング事業	2017（平成29）年度～2019（令和元）年度 『寄り添い型研究』による地域価値の向上 16研究テーマ	
本学と二松學舎大学との共同研究 出版		
2016（平成28）年 ショッピングモールと地域	発刊	ナカニシヤ出版
2018（平成30）年 フードビジネスと地域	発刊	ナカニシヤ出版
2020（令和2）年 地域と大学	発刊	ナカニシヤ出版
岡山商科大学 地域研究シリーズ		
2021（令和3）年 笠岡諸島における持続可能社会を基本にした振興策	発刊	ふくろう出版
2021（令和3）年 令和版 北房お大師巡りマップ	発刊	ふくろう出版

2. 学長

井尻 裕	1965（昭和40）年～1995（平成7）年3月
井尻 昭夫	1995（平成7）年4月～現在に至る

3. 歴代所長・次長

年次	所長	次長
1972（昭和47）年から	久川 武三	鳥越 良光
1977（昭和52）年から	西岡 正雄	岡本 輝代志
1982（昭和57）年から	佐伯 信之	堤 一浩 → 橘 晋介 → 知念 裕
1988（昭和63）年から	国沢 信	知念 裕
1989（平成元）年から	鳥越 良光	喜田 栄次郎 → 市村 巧
1992（平成4）年から	岡本 輝代志	田中 勝次 → 長谷川 博史 → 伊藤 治彦
1998（平成10）年から	吉尾 匡三	井上 省紀
2001（平成13）年から	中井 透	矢吹 雄平 → 西 敏明 → 島田 伸夫
2007（平成19）年から	大崎 紘一	川合 一央 → 成澤 寛 → 海宝 賢一郎
2020（令和2）年から	海宝 賢一郎	吉良 友人

4. 後援会理事・幹事（氏名のみ記載をしています）

1989年	代表理事	伊原木 一衛					
から	理事	秋山 政彦	稲葉 侃爾	河内山 重高	林原 健	藤田 正藏	
	代表幹事	佐藤 重雄					
	幹事	石田 祥史	岡崎 彬	木谷 忠義	黒瀬 知周	武田 修一	永山 久也 服部 弘平

1993年 から	代表理事	伊原木 一衛							
	理事	秋山 政彦	稲葉 侃爾	河内山 重高	林原 健	藤田 正藏			
	代表幹事	佐藤 重雄							
	幹事	石田 祥史	岡崎 彬	木谷 忠義	黒瀬 知周	近藤 弦之介	武田 修一	永山 久也	服部 弘平
2001年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	稲葉 侃爾	石井 稔	秋山 政彦	藤田 正藏	小嶋 光信		
	代表幹事	永山 久也							
	幹事	石田 祥史	武田 修一	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	片山 義久		
2003年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	稲葉 侃爾	大倉 徹彦	秋山 政彦	藤田 正藏	小嶋 光信		
	代表幹事	永山 久也							
	幹事	石田 祥史	武田 修一	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	片山 義久		
2004年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	稲葉 侃爾	大倉 徹彦	秋山 政彦	藤田 正藏	小嶋 光信		
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	片山 義久	松本 光雄	永山 久人		
2005年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	稲葉 侃爾	大倉 徹彦	藤田 正藏	小嶋 光信	秋山 進彦		
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	片山 義久	松本 光雄	永山 久人		
2008年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	稲葉 侃爾	藤原 隆昭	藤田 正藏	小嶋 光信	秋山 進彦		
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	片山 義久	松本 光雄	永山 久人		
2010年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	永島 旭	藤原 隆昭	藤田 正藏	小嶋 光信	秋山 進彦		
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	片山 義久	松本 光雄	永山 久人		
2012年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	永島 旭	原 憲一	藤田 正藏	小嶋 光信	秋山 進彦		
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	片山 義久	松本 光雄	永山 久人		
2013年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	永島 旭	原 憲一	小嶋 光信	秋山 進彦			
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	片山 義久	松本 光雄	永山 久人		
2014年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一衛	宮長 雅人	原 憲一	小嶋 光信	秋山 進彦			
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	松本 光雄	永山 久人			
2017年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	伊原木 一朗	宮長 雅人	桑田 茂	小嶋 光信	秋山 進彦			
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	松本 光雄	永山 久人			
2018年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	江國 成基	宮長 雅人	桑田 茂	小嶋 光信	秋山 進彦			
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	永山 久人				
2020年 から	代表理事	岡崎 彬							
	理事	江國 成基	宮長 雅人	桑田 茂	小嶋 光信	秋山 進彦			
	代表幹事	武田 修一							
	幹事	服部 弘平	木谷 忠義	近藤 弦之介	永山 久人				

5. 事務職員

年次	職員名
1976(昭和51)年から	赤木 富子
1982(昭和57)年から	田辺 敏子
1988(昭和63)年から	瓜生 清子
1989(平成元)年から	相澤 泰憲
1991(平成3)年から	相澤 泰憲 伍賀 千恵
1993(平成5)年から	相澤 泰憲 仲原 修 伍賀 千恵
1994(平成6)年から	長宗 繁 仲原 修 河合 俊隆 伍賀 千恵
1995(平成7)年から	長宗 繁 河合 俊隆 大倉 京子

年次	職員名
1997(平成9)年から	長宗 繁 大倉 京子 中村 裕
1998(平成10)年から	大倉 京子 中村 裕
1999(平成11)年から	相澤 泰憲 大倉 京子 中村 裕
2000(平成12)年から	相澤 泰憲 大倉 京子 三宅 英児
2001(平成13)年から	安田 角治 大倉 京子 三宅 英児
2004(平成16)年から	伍賀 千恵 中村 裕
2009(平成21)年から	中村 裕 橋本 真記
2014(平成26)年から	中村 裕 中川 尚子
2019(令和元)年から	中村 裕 中川 尚子 三浦 美由紀

編 集 後 記

本年度も商大レビュー第30号を無事に刊行することができました。ご協力いただいた方々に改めて感謝を申し上げます。

本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、公共の場でのマスク着用、緊急事態宣言による不要不急の外出自粛、飲食店等の時短営業、在宅ワークへの移行など、あらゆる場所・あらゆる場面において変化が求められる1年でした。マスクをしていない、複数人で飲みに行ったなどの理由で必要以上に責め立てる人やそれに怯えてしまう人がでてくるなど、人々の心が荒んでいく様子も見受けられました。また、飲食店をはじめとして大打撃を受けた業種もあり、職を失って人生が大きく変わった人もでてきました。

しかしながら、オンライン会議の増加に伴う Zoom のようなサービスの発展や今まで“無駄に”行っていた業務の効率化など、このような状況だからこそ成し得たことも少なくありません。生活面でも、在宅ワークの増加によって家族と過ごす時間が増えたり、通勤時間がなくなって他の事をする余裕ができたりと、悪いことばかりではなかったように思います。

お正月に祖母が「戦争と比べたら空爆の心配はないし、他国も敵ではないから全然マシ！」と言っていたのを聞き、私には実体験こそありませんが、今の状況は十分なんとかなるものであるということは強く認識することができました。もちろん、これまでと比べると大きな苦難があり、普通の生活すらままならない状況を余儀なくされている方もいらっしゃるかと思います。しかし、歴史からも見て取れるように、私たち人間には現状を打破するために考える力があります。社会総合研究所も今までの繋がりは大切にしつつも、現状に沿った地域社会との新たな繋がり方を模索していく所存でございます。引き続き、よろしく願い申し上げます。(Y)

商大レビュー

Shodai Review

Vol.30

2021.3

発行／岡山商科大学
〒700-8601 岡山市北区津島京町2丁目10-1
TEL.086-252-0642 (代)
FAX.086-255-6947

ISSN 1340 2315

編集／岡山商科大学社会総合研究所
TEL.086-256-6656

レイアウト・製作／友野印刷株式会社

岡山商科大学「商大 Blog」

<http://sangakukan2.osu.ac.jp/>

公開講座や夕学講座、フィールドスタディなど、「大学の今」を随時、掲載中！！



©掲載された記事へのご意見・ご感想等ございましたら E-mail:syaken@po.osu.ac.jp まで



Okayama Shoka University

